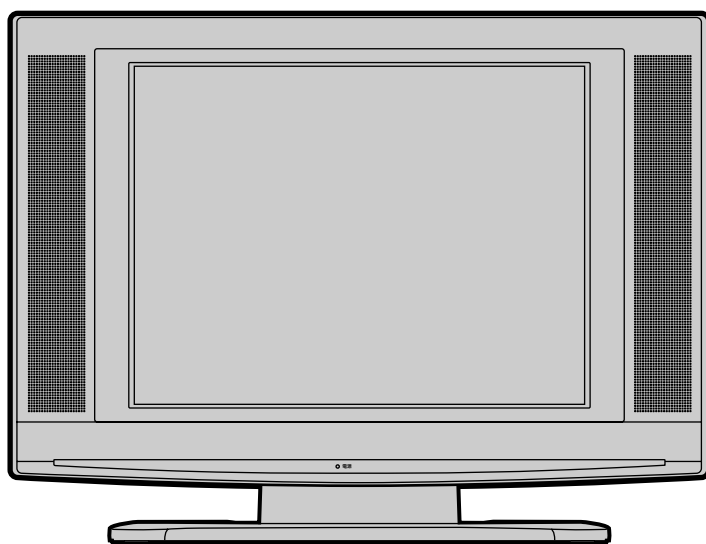
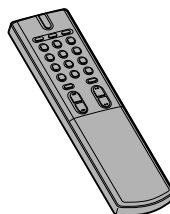
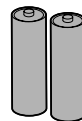
取扱説明書

このたびは製品を
お買い上げいただき、
ありがとうございます。

DVDプレーヤー内蔵 15V型液晶テレビ

LV-151P

製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見ることのできるところに必ず保存してください。

付属品が同梱されているかお確かめください

保証書について

・保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

もくじ

ご注意

■ 安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

・この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

絵表示の意味

 ・必ず指示にしたがい、行なってください。

 ・絶対に行わないでください。

 ・絶対に触れないでください。

 ・絶対に濡らさないでください。

 ・注意してください。

 ・破裂に注意してください。

 ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 ・絶対に分解/修理はしないでください。

 ・絶対に水場では使用しないでください。

 ・絶対に濡れた手で触れないでください。

 ・高温に注意してください。

 ・指をはさまないよう注意してください。

家庭用品品質表示法に基づく表示

■使用上のご注意
・内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
・温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
・感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
・ちり、ほこりを取るため内部を掃除するときは、販売店、電気店等に相談してください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠警告

ご使用になるとき

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

■ 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

本機の開口部(通風孔/ディスク挿入口など)から内部に異物をいれない

■ 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。

■ **特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。**

DVDプレーヤーのピックアップからでるレーザー光を直接見たり体に浴びない

■ 失明や火傷をするおそれがあります。
本機は国際規格IEC825に準ずるクラス1レーザー製品です。

禁止　禁止

本機のそばに水などの入った容器や金属物を置かない (花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)

■ こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

水濡れ禁止　水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

■ 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。

■ 風呂場では使用しないでください。

■ 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。

■ 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

■ 倒れた場合は感電事故の原因になります。

警告

電源コード・プラグの取り扱い

交流100V

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

■ 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
■ 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

■ 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
■ ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

■ 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

禁止

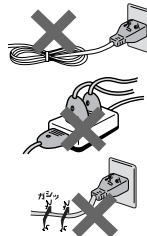
濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

■ 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
■ 必ずかわいた手で持ってください。

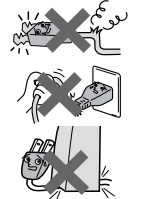
禁止

電源コードを正しく使用する

- **束ねない**
- **延長・タコ足配線しない**
- **固定しない**

■ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
■ タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない

- **破損させない**
- **引っぱらない**
- **切断しない**
- **曲げない**
- **加熱しない**
- **加工しない**
- **ねじらない**
- **重いものをのせない**

■ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源は、必要に応じてブレーカーやヒューズを設置した専用回路からとる

■ 発火の原因になります。

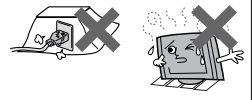
電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

■ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
■ 時々点検をしてください。

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない

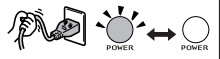
■ 火災・感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

■ 感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください

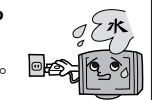
■ 感電の原因になります。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

■ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

使用禁止

プラグを抜く

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異常が発生したときは電源プラグを抜く

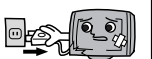
使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙がでている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

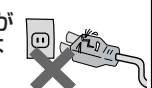
本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

画面が映らない、音声がでないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご注意

警告

電池の取り扱い

アルカリ乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものを使用する

■ 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

電池は乳幼児の手の届かないところへおいてください

■ 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

設置・移動のご注意

海水や塩害に注意

■ 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

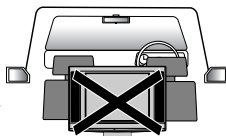
使用禁止

本機を車の中で使用しない。自動車内に放置しない。

■ 本機は車載用ではありません。

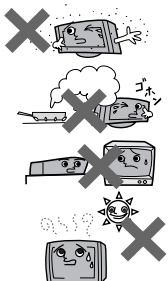
■ 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。

■ 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。

■ 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- ほかのテレビの近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

■ 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

禁止

本機の上に乗らない

■ バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

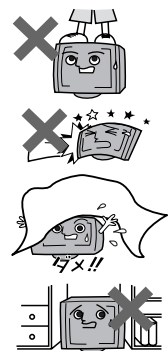
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

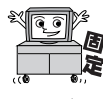
■ 故障の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をおく

■ 内部に熱がこもり火災の原因になります。

本機をキャスターつきテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

■ 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

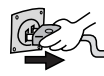
アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください

安定した場所に設置する

■ 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

電源コード・プラグの取り扱いのご注意

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長時間外出するとき
- 旅行をするとき

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

- アンテナ線や外部の接続線もはずす

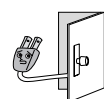
■ そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードを引っ張らない

■ 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

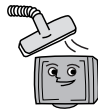
電源コードを引き回さない

■ 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

■ 発煙や発火の原因となります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

■ コードの被覆が溶けて火災/感電の原因となることがあります。

ご使用になるときのご注意

掃除

年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

■ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
■ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

液晶パネルの破損

■ 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

スタンドについて

■ 液晶テレビを前後に傾けるとき、スタンド部に手を近づけないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。
■ 角度を調整するときは、両手でゆっくり操作してください。片手で行うと、転倒するおそれがあります。

壁に掛けて使用しない

■ 放熱、強度の点から故障、落下の原因となることがあります。

注意
注意
注意

指をはさまれないように注意

■ 小さなお子様がディスク挿入口から手を入れないようご注意ください。
■ けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについてのご注意

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する
・プラス(+)とマイナス(–)の向きを正しく入れる

■ 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定されていない電池の使用。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

■ 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意
・ショートさせない　・分解・加熱をしない
・火の中に投入しない

■ 破裂したりする危険があります。

眼精疲労について

● ディスプレイとして使用するときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。
また、連続作業するときは、1時間に10分～15分程度の休息をとってください。長時間液晶テレビを見続けると、目に疲労が蓄積されます。

本液晶テレビの廃棄

● 事業者が廃棄する場合
本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。

● 個人が廃棄する場合
本液晶テレビの蛍光管には、水銀が含まれております。本液晶テレビを廃棄するときは、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

ご注意

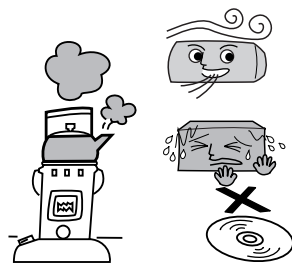
本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

● ビデオの上に本機を直接置いた場合、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

お使いになる前に

■ 結露（つゆつき）について

● **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

● **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、**約1～2時間乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。

■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「結露」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。
■ 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
• 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
• 急に部屋を暖房したとき
• エアコンなどの冷風が直接当たるところ
• 湿気の多いところ
• 梅雨の時期
• 設置した直後

■ 本機の置き場所や取り扱い

● 本機の近くに、強い磁気をもっているもの（スピーカーなど）を置かないでください。映像や音声に悪影響を与えることがあります。
● 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
● 使い終わったあとは電源を切り、節電を心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
● 直射日光の当たる場所には、置かないでください。センサーが誤動作することがあります。
● ご使用にならないときは、必ず停止ボタンを押してからディスクを取り出し、電源を切ってください。
● 国外では使えません。
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

■ ディスクの取り扱い

● 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
● 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
● 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
● 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください**。ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
● 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
● お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
● ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
● 次のロゴマークがついたディスクをご使用ください。詳しくは[➡ 10ページ]をご覧ください。

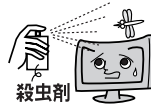
■ 著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要です。同社の認可がない限り、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造することも禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

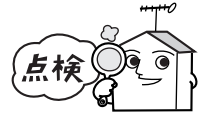
■ お手入れについて

中性洗剤

キャビネットは…

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後に乾いた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

■ ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

■ リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

■ この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDと表現します。）

DVD-RW/-R VRフォーマット VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクで楽しめる機能を表します。

JPEG JPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

CD 音楽用CDで楽しめる機能を表します。

あどばいす 操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行なっています。

お使いになる前に

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

【DVDビデオディスク】

本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。また、ディスクには下記のようなリージョン番号が表示されます。
DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

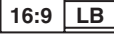
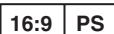
ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL DVD VIDEO 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤
DVD-RW/DVD-R※1、3 記録状態によっては再生できないディスクもあります DVD RW DVD R	音声＋映像(動画)	12cm盤
音楽用CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音　声	12cm盤
CD-RW/CD-R※2、3 音楽CDフォーマット、JPEG形式で記録されたディスク COMPACT disc ReWritable COMPACT disc Recordable	音　声	12cm盤
ピクチャーCD Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像（JPEG方式）	12cm盤

- ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証はいたしかねます。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証はいたしかねます。本機は12cm盤ディスクのみの再生専用機です。8cm盤ディスクは使用しないでください。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生部分のピックアップレンズの状態により再生できない場合があります。

※1 弊社製のDVDレコーダーで記録された未ファイナライズディスクに対応しています。他社製のDVDレコーダーで記録されたファイナライズしていないディスクは再生できません。
※2 CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
※3 ディスクにラベルや紙などを貼り付けると、再生できない場合があります。

DVD-RW/-Rディスクの再生について

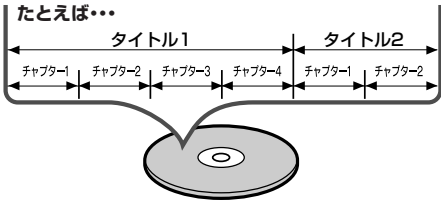
- 再生できるDVD-RW/-Rは、ビデオフォーマットまたはVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。（CPRM対応）
- DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行なってください。
- ビデオフォーマット、VRフォーマット、ファイナライズ等、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

RW COMPATIBLE　この表示は、DVDレコーダーでVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します（CPRM対応）。

下記のディスクは再生できません。

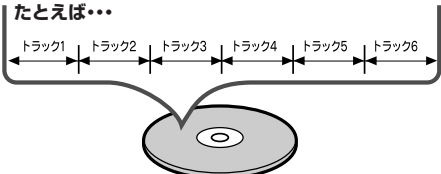
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD　● VCD　● DVD-ROM
- CD-ROM　● VSD　● CDV　● CD-G　● DVD-RAM
- DVD-Audio　● CD-RW/-R(音楽用データ以外のもの)　● CD-I　● DTS-CD
- SACD（ハイブリッドディスクで、通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することはできません。）
- フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）
- 8cm盤ディスク
- 記憶領域が少ないディスク（直径55mm以下）は、再生できない場合があります。

■ ディスク表示について

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示		機能説明
・**リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。** 2　ALL		・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・**DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。**	4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9　LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーがついた（レターボックス）画像を楽しめるように記録されています。
	16:9　PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・**字幕の種類を表しています。** 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕		・リモコンのサブタイトルボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・**DVDビデオディスクに記録されているアングル数**（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）**を表しています。** 例：2		・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・**音声トラック数や音声記録方式を表しています。** 例：4 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声		・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。 ※ 本機は、DTS音声出力に対応していません。

■ ディスクの構成

DVD
DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

● タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
● チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD
音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。

● トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

■ おもな特長

テレビ

CATV対応チューナー [➥ 20〜21ページ]
- C13ch〜C63chまでのフルバンドを受信できます。

DVD

ドルビーデジタルサラウンド [➥ 17ページ]
- ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止（静止）、コマ送り再生、スロー再生 [➥ 31、33〜35ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

ランダム再生（音楽用CD） [➥ 39ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生（音楽用CD） [➥ 38ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

早見早聞／遅見遅聞再生 [➥ 34ページ]
- 早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

DVDメニュー言語切り換え [➥ 60〜63ページ]
- DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

希望する言語で字幕を表示 [➥ 53、60〜63ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➥ 54ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➥ 52、66〜67ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

パレンタル設定 [➥ 68〜69ページ]
- パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVD、音楽用CDなどを自動的に判別して再生します。

画面表示 [➥ 58ページ]
- 各時点で行なっている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➥ 40〜44ページ]
- チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- トラックサーチ：
  ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間をサーチすることができます。

リピート [➥ 36〜37ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（VRフォーマット、音楽用CD）：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- グループ（JPEG）：
  同じフォルダ内に有るJPEGファイルを繰り返して再生することができます。
- A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。

ズーム [➥ 55ページ]
- 1.3倍、2倍、4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生（リジューム機能）[➥ 32ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

黒レベル [➥ 56ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

バーチャルサラウンド [➥ 56ページ]
- バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。

ビットレート表示 [➥ 58ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➥ 67ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

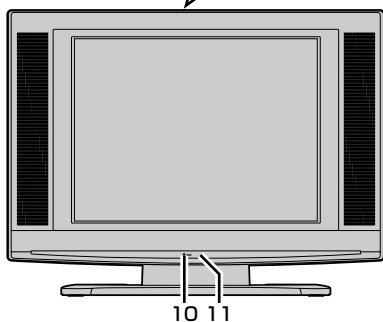
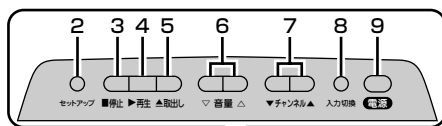
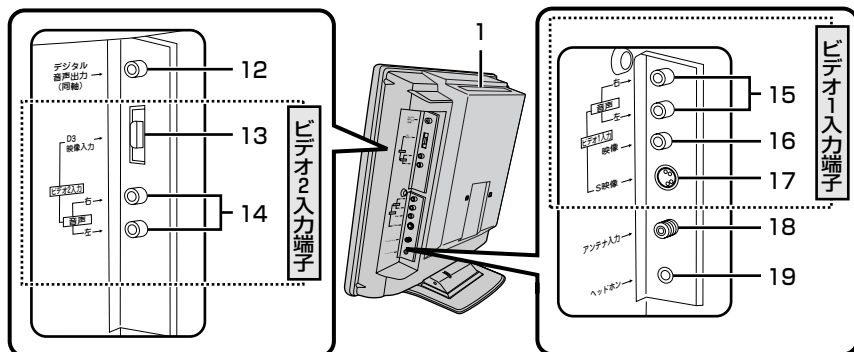
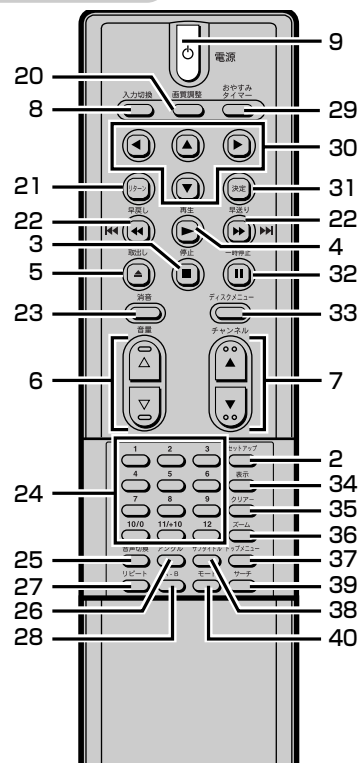
マーカー [➥ 57ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

ダウンサンプリング [➥ 67ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

スクリーンセーバー機能 [➥ 71ページ]
- セットアップでスクリーンセーバー機能をオンに設定した場合、約5分間の無操作で、スクリーンセーバーが起動します。

DVD-RW/-R（VRフォーマット）ディスク再生：
- VRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生することができます。

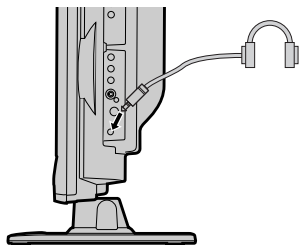
■ 各部のなまえ

背　面

1　ディスク挿入口 [➡ 29ページ]
2　セットアップボタン [➡ 20、60ページ]
3　停止ボタン [➡ 30ページ]
4　再生ボタン [➡ 29ページ]
5　取出しボタン [➡ 29ページ]
6　音量ボタン [➡ 26ページ]
7　チャンネルボタン [➡ 26ページ]
8　入力切換ボタン [➡ 18、26ページ]
9　電源ボタン [➡ 26、29ページ]
10　電源表示ランプ
11　リモコンセンサー [➡ 14ページ]
12　デジタル音声出力(同軸)端子 [➡ 17ページ]
13　D3映像入力端子(ビデオ2) [➡ 16ページ]
14　音声入力端子(ビデオ2) [➡ 16ページ]
15　音声入力端子(ビデオ1) [➡ 16ページ]
16　映像入力端子(ビデオ1) [➡ 16ページ]
17　S映像入力端子(ビデオ1) [➡ 16ページ]
18　アンテナ入力端子 [➡ 15ページ]
19　ヘッドホン端子 [➡ 14ページ]
20　画質調整ボタン[➡ 27ページ]
21　リターンボタン [➡ 57ページ]
22　早戻し/早送りボタン [➡ 31ページ]
23　消音ボタン [➡ 26ページ]
24　数字/+10ボタン [➡ 26ページ]
25　音声切換ボタン [➡ 52ページ]
26　アングルボタン [➡ 54ページ]
27　リピートボタン [➡ 36ページ]
28　A-Bボタン [➡ 37ページ]
29　おやすみタイマーボタン [➡ 28ページ]
30　カーソルボタン [➡ 19ページ]
31　決定ボタン [➡ 19ページ]
32　一時停止ボタン [➡ 33ページ]
33　ディスクメニューボタン [➡ 40ページ]
34　表示ボタン [➡ 26、58ページ]
35　クリアーボタン [➡ 37ページ]
36　ズームボタン [➡ 55ページ]
37　トップメニューボタン [➡ 40ページ]
38　サブタイトルボタン [➡ 53ページ]
39　サーチボタン [➡ 42ページ]
40　モードボタン [➡ 38ページ]

お使いになる前に

本体前面について

本機のカウンタ（再生時間）の確認はテレビ画面で行なってください。
詳しくは、[➡ 58ページ]をご覧ください。

ヘッドホンについて

- ヘッドホンご使用の際は本体のヘッドホン端子に差し込んでください。
- ヘッドホン使用時は、本体のスピーカーからは音声はでません。
- ヘッドホンは付属品に含まれていませんので、市販品をご使用ください。

本体背面について

あどばいす

- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

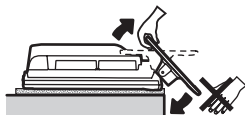
リモコンについて

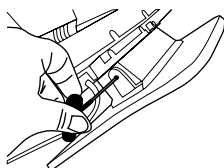
あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 直射日光の当たる場所には、置かないでください。誤動作することがあります。

スタンドを立てる際や折りたたむ際には、指つめ等にご注意ください。

チルトスタンド

スタンドはご購入時、折りたたまれた状態です。スタンドを立てる際には、机などの上にやわらかい布をひいて、液晶部分を下にして、ゆっくりとスタンドをカチッと音がするまで立ててください。

こちら側を持ってスタンドを立てることは絶対にしないで下さい。

再度スタンドを折りたたむ場合は、イラストの様に細い棒をスタンドの右側にある穴に差し込みながら、折りたたんでください。

リモコンの使いかた

リモコン乾電池の入れかた

1 フタをスライドさせる。

2 フタをななめ方向に押してうかせ、内部のストッパーをはずす。

3 単3乾電池を入れる。

- ＋－を確かめてください。

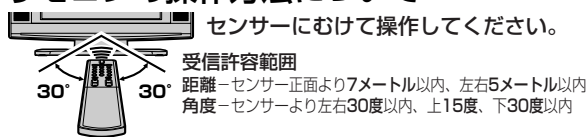
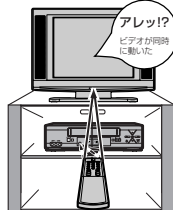
4 フタをレールに合わせ、スライドさせる。

5 フタを上部から押し、リモコンにはめ込む。

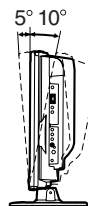
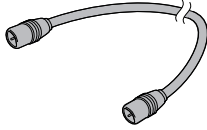
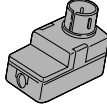
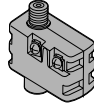
「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

リモコンの操作方法について

センサーにむけて操作してください。

受信許容範囲
距離－センサー正面より**7メートル**以内、左右**5メートル**以内
角度－センサーより左右**30度**以内、上**15度**、下**30度**以内

※当社製のビデオやDVDプレーヤーをご使用になる場合

本機の近くに、テレビやビデオ、DVDプレーヤーがある場合、本機のリモコンを操作したときに、テレビやビデオ、DVDプレーヤーが同時に動作することがあります。
リモコンから発する赤外線の波長が、共通の波長を使用しているために起こる現象です。
同一機器を2台以上ご使用している場合も同時動作する場合があります。
同時動作を防ぐには、ビデオやDVDプレーヤーのリモコン受光部を、赤外線を透さないもの（雑誌など）で遮るようにしてください。

スタンドの角度調整

スタンドの角度を変えることで、お好みの角度に本機を傾けることができます。

■ アンテナ線のつなぎかた

アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の視聴はできません。

同軸ケーブルをアンテナプラグに取り付けるには加工が必要です。
詳しくは、[➡ 16ページ]をご覧ください。
壁にアンテナ端子がある場合はアンテナ線を取りはずし、アンテナ〜本機間に別売の同軸ケーブルを使用します。

※ ビデオを接続する場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

あどばいす

アンテナ接続について…

- お住まいの地域によってアンテナ線の種類や本機との接続方法は異なります。
- アンテナ線の種類により、アンテナプラグ(別売品)やU/V混合器(別売品)が必要です。
- 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースター（別売品）」をご使用いただくことにより、電波の利得を全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、本機画像にノイズが残る場合があります。
  詳しくは販売店にご相談ください。

ー アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について ー

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、ＢＳアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上アナログテレビ放送用のテレビ受信機で地上デジタルテレビ放送をご覧になるには
2011年7月までに地上アナログテレビ放送は終了し地上デジタルテレビ放送に完全に移行することが国の法令によって定められています。
本機で地上デジタルテレビ放送をご覧いただくには、地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーを接続する方法（注1）とケーブルテレビで視聴する方法（注2）があります。
（注1）地上デジタルテレビ放送に対応したアンテナ等が必要です。
（注2）サービス形態や受信方法等についてはケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

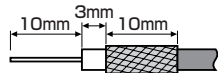
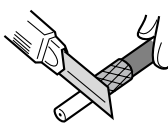
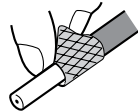
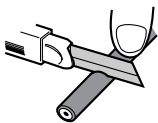
接続・設定について

■ 同軸ケーブルの加工のしかた

1 黒いビニールだけを切り取る
- 金属の編組に傷をつけないように注意してください。

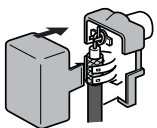
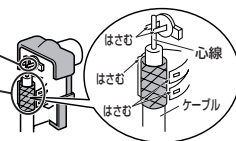
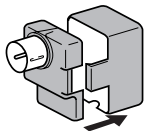
2 金属の編組を折り返す

3 白いビニールだけを切り取る
- 心線に傷をつけないように注意してください。

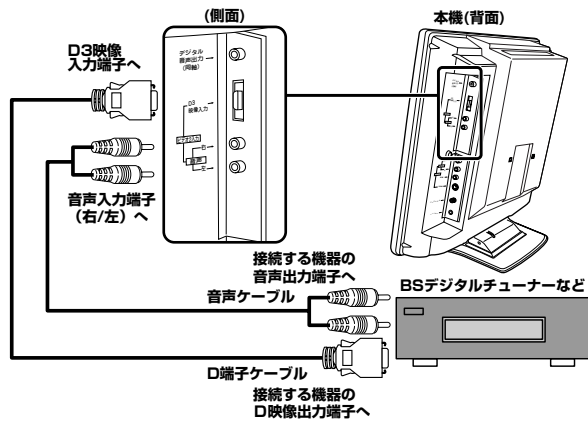
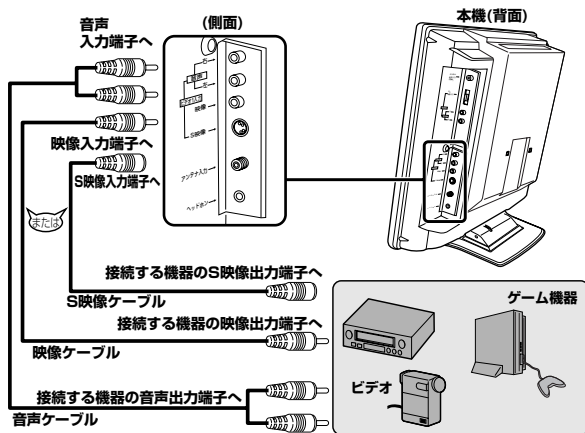
4 心線をだす
- 上図の寸法は加工の目安です。

■ 同軸ケーブルとアンテナプラグ（別売品）のつなぎかた

1 指でツメをひらきながらはずす

2 同軸ケーブルを取り付ける
- 心線をはさみ、ほかに接触しないように巻きつける。
- ペンチで金具をしめてケーブルを固定する。

3 カバーを取り付ける

■ ほかの機器との接続

ビデオ・ゲーム機などの接続
（ビデオ1入力端子に接続する場合）

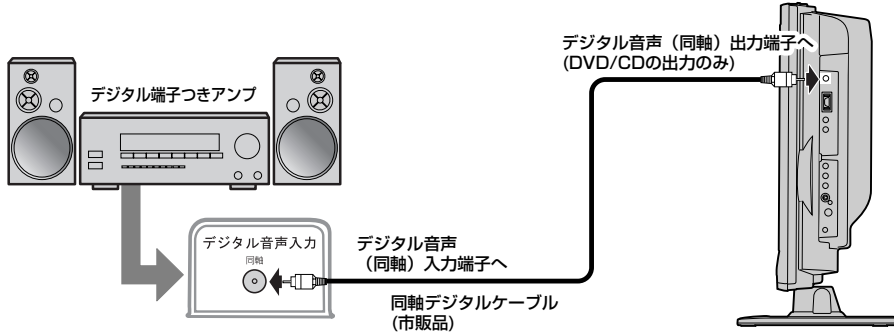
D映像出力端子つきデジタル機器との接続
（ビデオ2入力端子に接続する場合）

- 本機側面下部のビデオ1入力端子に接続された機器の音声・映像をご覧になるには、入力切換ボタンまたはチャンネル▼/▲ボタンで「ビデオ1」を選びます。
  S映像入力端子と映像入力端子が同時に接続されている場合は、S映像入力端子の映像が優先されます。
- 本機側面上部のビデオ2入力端子に接続された機器の音声・映像をご覧になるには、入力切換ボタンまたはチャンネル▼/▲ボタンで「ビデオ2」を選びます。

あどばいす

- 本機を移動するときはすべてのコードを抜いてください。
- 電源を切ってから接続してください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてありますのでそれぞれ色が合うようにつないでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因となります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
- D3映像入力端子はD1/2/3映像出力信号に対応しています。（<D3簡易入力>1080iを480Pに変換しますので、高精細な映像を楽しめます。ただし、本来のハイビジョン映像ではありません。）
- 機器につないで画像が乱れたり、雑音がでるときは、たがいに近づきすぎていることがありますので充分離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

■ デジタル入力端子つきアンプとの接続

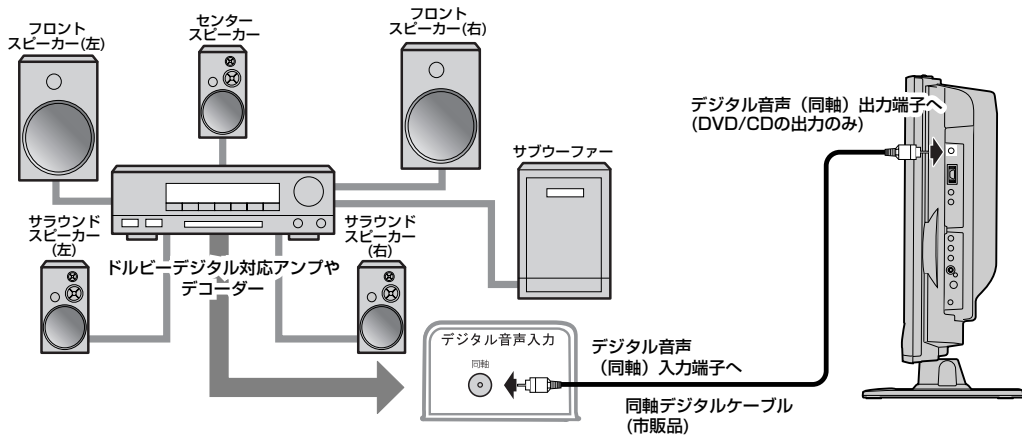
● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子つきアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

- 正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 66〜67ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- 本機はDTS音声出力をサポートしていません。

■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンドのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「音声」設定の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 66〜67ページ]
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「音声」設定の[ドルビーデジタル]を[PCM]にしてください。(工場出荷時はドルビーデジタルは[ビットストリーム]）　正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 66〜67ページ]
- 本機はDTS音声出力をサポートしていません。

接続・設定

接続・設定について

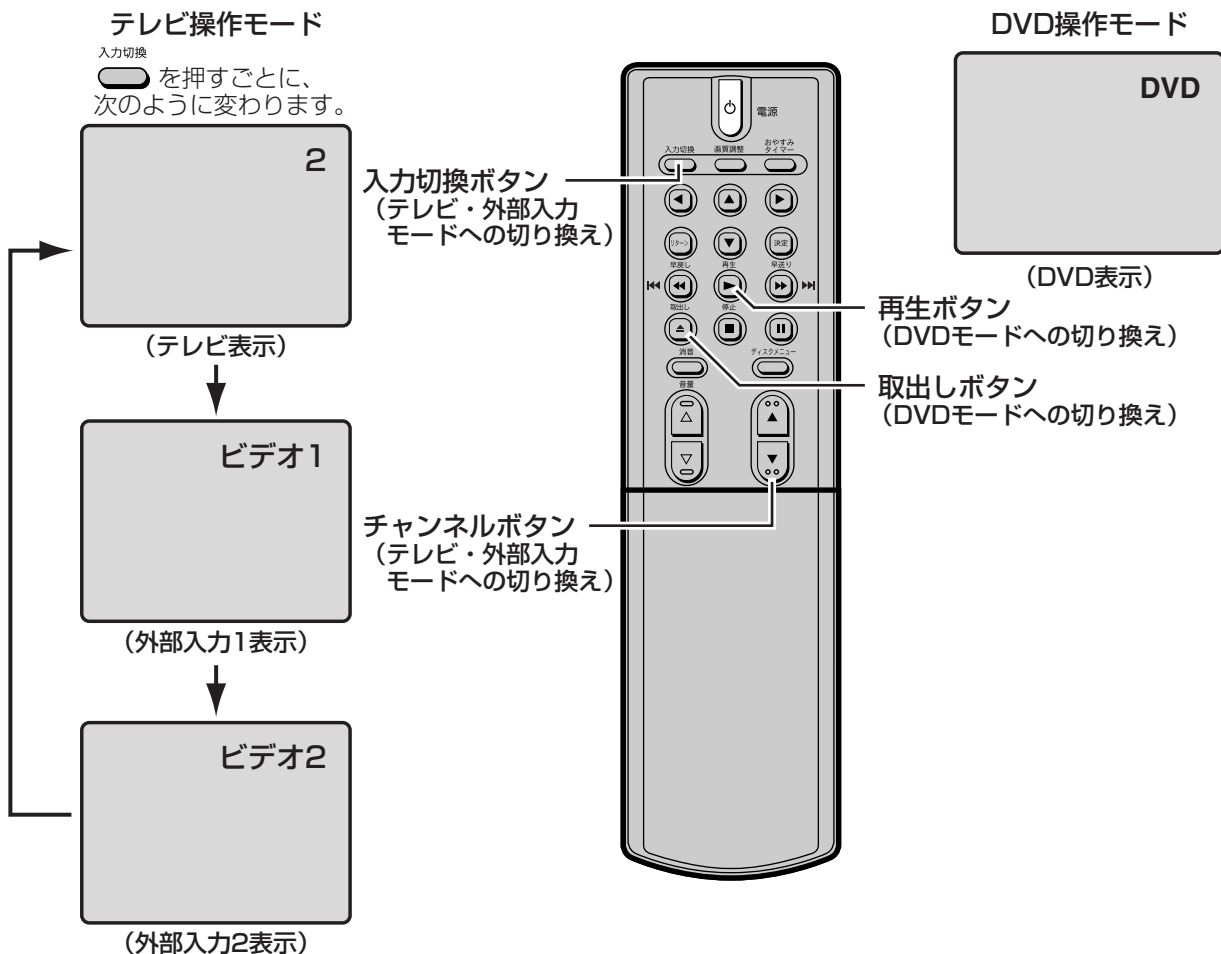
■ テレビ/DVDの切り換え操作について

本製品はテレビとDVDプレーヤーが一体型になっており、
操作時はテレビとDVDを切り換える必要があります。
電源を入れ、以下の操作を行なってから、各操作を行なってください。
※20ページ以降の説明においては、リモコンを主体とした説明になりますので、ご了承ください。

テレビ操作時

■リモコンの入力切換ボタンを押してテレビ操作モードにします。

DVD操作時

■リモコンの再生ボタンまたは取出しボタンを押してDVD操作モードにします。

あどばいす

テレビ操作モードについて
- 入力切換ボタンを押すごとに、テレビ表示→外部入力1表示→外部入力2表示と切り換わります。
- チャンネルボタンでも、外部入力表示をすることができます。

DVD操作モードについて
- 本体またはリモコンの再生ボタンや取出しボタンを押すことにより、DVDの画像を表示し、DVD操作モードに切り換わります。

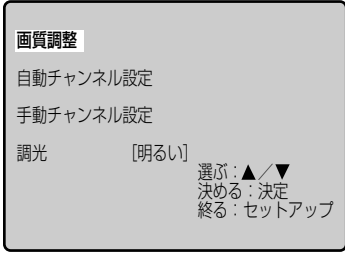
■ 本製品の機能操作について

テレビ

本機はセットアップ画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※20ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

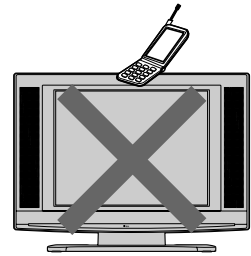
図1 ご購入時のセットアップ画面

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	セットアップ
・メニュー項目の選択	カーソル	▼ ▲ ＊1
・選択項目の切り換え	カーソル	◀ ▶ ＊2
・選択項目の確定	決定	決定
・1つ前の項目へ戻る	リターン	リターン

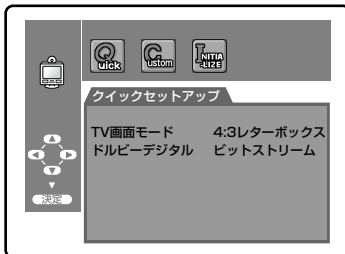
＊1
▲ ボタンを押すと、上へ移動または大きい数字になり、
▼ ボタンを押すと、下へ移動または小さい数字になります。

＊2
◀ ▶ で、
• 手動チャンネル設定のスキップ/メモリー切り換え
• 画質調整ができます。

• 携帯電話をご使用になるときは本機に近づけないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

DVD

本機はセットアップ画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※29ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

図1 セットアップ画面（テレビ画面）

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	◀ ▶ ▲ ▼
・選択項目の確定	決定	決定
・1つ前の項目へ戻る	リターン	リターン

接続・設定について

■ 自動チャンネル設定（アンテナ線を必ず接続してください）

お買い上げ時や、お引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行なってください。
お住まいの地域で受信可能なチャンネルを本機が設定します。

準備：外部またはDVDモードが選択されているときは、入力切換ボタンを押し、テレビモードを選んでください。

● 自動チャンネルの設定の方法

1

電源を入れて セットアップ (本体: セットアップ)でセットアップ画面を表示する

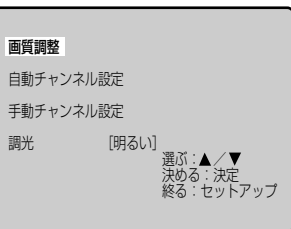
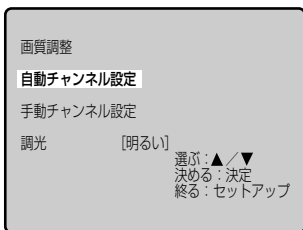
画質調整
自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
調光　　　　[明るい]
選ぶ：▲／▼
決める：決定
終る：セットアップ

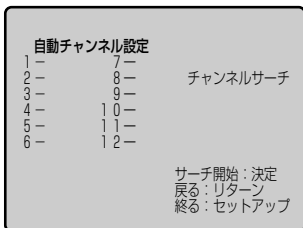
＊ひとつ前の操作に戻るときは リターン (本体: ▼音量)を押します。

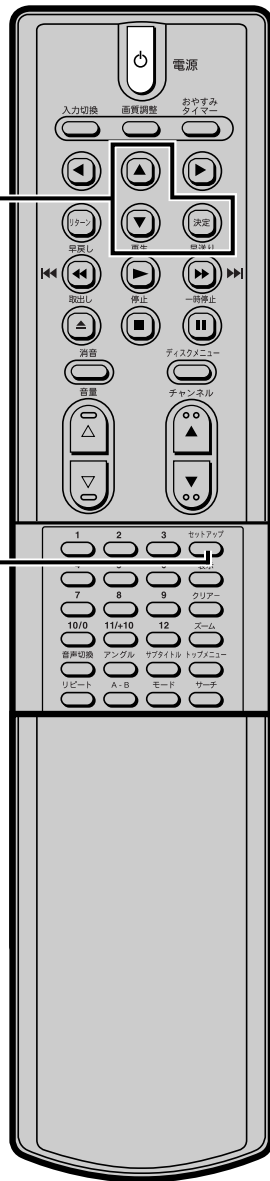
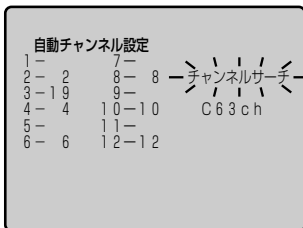
2

▲ または ▼ (本体: ▼チャンネル▲)で**自動チャンネル設定**を選ぶ

＊ ▲ (本体: チャンネル▲)で、カーソルが上へ移動し、
▼ (本体: ▼チャンネル)で、下へ移動します。

3

決定 (本体: 音量▲)で自動チャンネル設定画面を表示する

4

決定 (本体: 音量▲)をもう一度押すことによりチャンネルサーチを開始する

- 1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。
- 最終チャンネルのC63chが表示されるまで、しばらくお待ちください。
- チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。

5

・チャンネルサーチ終了後、記憶された最小チャンネルが画面に表示されます。

※右上にチャンネルが表示されたら選局完了です。チャンネル▲/▼ボタンまたは数字ボタンを押して正しく受信しているかお確かめください。正しく受信しない場合は“アンテナ線のつなぎかた”をもう一度お確かめのうえ、自動チャンネルの設定を行なってください。

数字ボタンで操作したときのみ
※チャンネル設定された表示番号は**「水色」**で表示されます。
チャンネル設定されていない表示番号は**「紫色」**で表示されます。

■ 自動チャンネル設定（受信ステップ）について

（1）【VHF】　1ch〜12ch
↓
(2)【UHF】　13ch〜62ch
↓
(3)【CATV】　C13ch〜C63ch

・上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
・設定には多少時間がかかりますが、ご容赦ください。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。
CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

あどばいす

ご購入の際は、VHF放送の1ch〜12chが受信できる状態になっています。

- チャンネル▼/▲ボタンを使用して、飛び越し選局するには、受信チャンネルの設定が必要です。
- チャンネル設定を一度行えば本機に記憶されるため、停電などの場合でも設定をやり直す必要はありません。
- 引越などでお住まいの地域が変更になった場合は、再度自動チャンネルの設定を行なってください。
- VHF/UHFチャンネルを受信する画面表示番号や受信チャンネルを変更するには、「チャンネル設定変更」[➡ 24ページ]をご覧ください。
- 本機は、24チャンネル分を記憶することができます。
チャンネルサーチ動作途中で、24チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
自動チャンネル設定された以外のチャンネルを記憶させるには、不要なチャンネルを削除し、新たに記憶させたいチャンネルを手動で設定する必要があります。この操作をするには、[➡ 22ページ]の「不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰」をご覧ください。
- CH番号1〜12に設定されたチャンネルをご覧になるには、数字ボタンまたはチャンネル▼/▲ボタンで操作してください。
CH番号13〜24に設定されたチャンネルをご覧になるには、チャンネル▼/▲ボタンで操作してください。

接続・設定について

■ 不要なチャンネルの削除（スキップ）とチャンネル復帰

準備：外部またはDVDモードが選択されているときは、入力切換ボタンを押し、テレビモードを選んでください。

放送されているけれど、ふだんは見ないチャンネル、または放送が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すには…

●「不要チャンネルの削除の方法」へ

チャンネル設定で削除（スキップ）したチャンネルを復帰するには…

●「チャンネル復帰の方法」へ

● 不要チャンネルの削除の方法

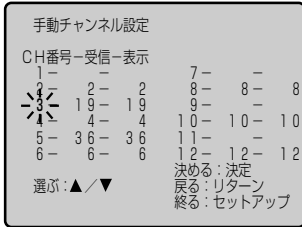
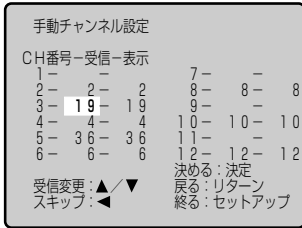
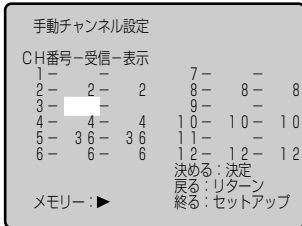
4 ▲ または ▼ (本体: ▼チャンネル▲)で、
削除（スキップ）したい**CH番号**を選ぶ

手動チャンネル設定
CH番号−受信−表示
1− − 7− −
2− 2− 2 8− 8− 8
3− 19− 19 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− 36− 36 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
決める：決定
選ぶ：▲／▼ 戻る：リターン
終る：セットアップ

5 決定 (本体: 音量▲)を押す

手動チャンネル設定
CH番号−受信−表示
1− − 7− −
2− 2− 2 8− 8− 8
3− 19− 19 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− 36− 36 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
決める：決定
受信変更：▲／▼ 戻る：リターン
スキップ：◀ 終る：セットアップ

6 ◀ (本体: ▼音量)で削除（スキップ）する

手動チャンネル設定
CH番号−受信−表示
1− − 7− −
2− 2− 2 8− 8− 8
3− − 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− 36− 36 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
決める：決定
戻る：リターン
メモリー：▶ 終る：セットアップ

• 続けてほかのチャンネルを削除(スキップ)したい場合は、決定 (本体: 音量▲)を2回押してカーソルを**CH番号**に戻し、4〜6の操作を繰り返してください。

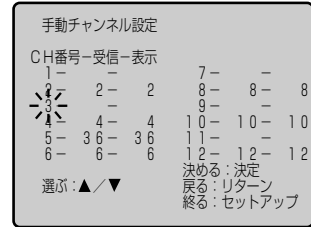
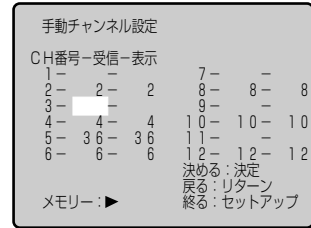
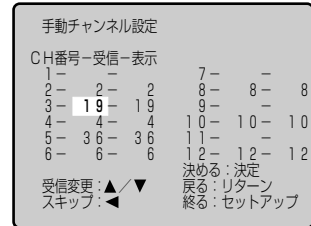
7 セットアップ (本体: セットアップ ●)で終了し、通常画面に戻る

● チャンネル復帰の方法

4 ▲ または ▼ (本体: ▼チャンネル▲)で、
復帰させたい**CH番号**を選ぶ

手動チャンネル設定
CH番号−受信−表示
1− − 7− −
2− 2− 2 8− 8− 8
3− − 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− 36− 36 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
決める：決定
選ぶ：▲／▼ 戻る：リターン
終る：セットアップ

5 決定 (本体: 音量▲)を押す

手動チャンネル設定
CH番号−受信−表示
1− − 7− −
2− 2− 2 8− 8− 8
3− − 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− 36− 36 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
決める：決定
戻る：リターン
メモリー：▶ 終る：セットアップ

6 ▶ (本体: ▼音量)で復帰する

• 続けてほかのチャンネルを復帰させたい場合は、決定 (本体: 音量▲)を2回押してカーソルを**CH番号**に戻し、4〜6の操作を繰り返してください。

7 セットアップ (本体: セットアップ ●)で終了し、通常画面に戻る

あどばいす

- **CH番号13〜24に設定されたチャンネルを削除または復帰するには、4の操作でCH番号1を選んで▲ボタン、またはCH番号12を選んで▼ボタンを押してください。**
- **不要なチャンネルを削除しておくと、チャンネル▲/▼ボタンで選局するときにスキップする(飛び越す)ことができます。**
- **削除したチャンネルを見たいときは、数字ボタンで選局できます。（画面表示番号は紫色になります。）**

接続・設定

接続・設定について

■ チャンネル表示設定画面について

〈テレビ画面〉

CH番号（チャンネル番号）
• 本機に記憶される番号です。

画面表示番号
• 画面に表示されるチャンネル番号です。

受信チャンネル
• 実際に受信した放送チャンネルです。

接続・設定

あどばいす

• 画面表示番号はCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。

■ チャンネル設定変更

準備：外部またはDVDモードが選択されているときは、入力切換ボタンを押し、テレビモードを選んでください。

1 セットアップ (本体: セットアップ)でセットアップ画面を表示する

＊ひとつ前の操作に戻るときは リターン (本体: ▼音量)を押します。

2 ▲ または ▼ (本体: ▼チャンネル▲)で**手動チャンネル設定**を選ぶ

＊ ▲ (本体: チャンネル▲)で、カーソルが上へ移動し、
▼ (本体: ▼チャンネル)で、下へ移動します。

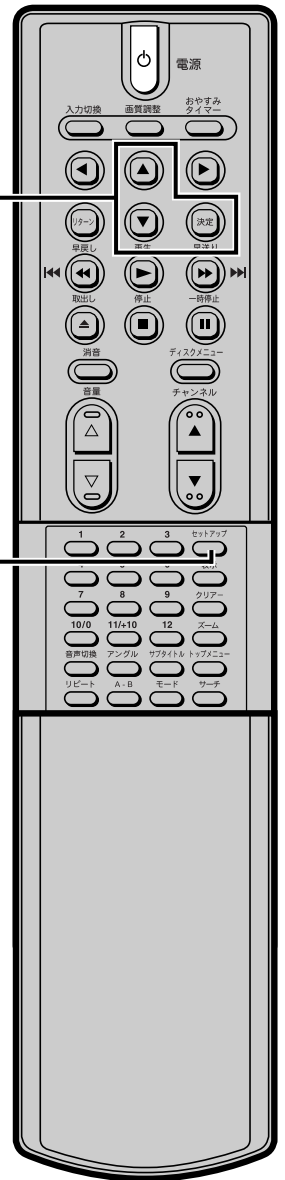
3 決定 (本体: 音量▲)で手動チャンネル設定画面を表示する

4 ▲ または ▼（本体：▼チャンネル▲）で変更する**CH番号**を選ぶ

• 受信チャンネル変更の場合は 決定（本体：音量△）を1回、画面表示番号変更の場合は 決定（本体：音量△）を2回押します。

5 ▲ または ▼（本体：▼チャンネル▲）で番号を設定する

6 セットアップ（本体：セットアップ）で終了し、通常画面に戻る

• 続けてほかの画面表示または受信チャンネルの変更したい場合は、手順5終了後、決定（本体：音量△）を押してカーソルを**CH番号**に戻し、4〜5の操作を繰り返してください。

あどばいす

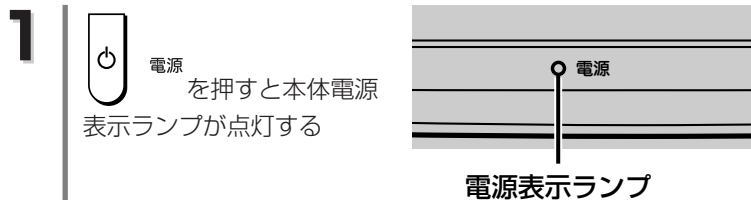
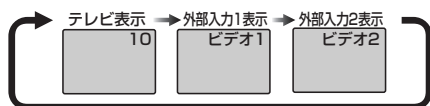
• CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示番号の変更はできません。すべて同じ番号となります。
• 表示番号はCH番号か受信チャンネルしか選べません。
• CH番号13〜24に設定されたチャンネルの設定変更をするには、4の操作でCH番号1を選んで▲ボタン、またはCH番号12を選んで▼ボタンを押してください。

テレビを見る

アンテナ線（VHF、UHF、CATV等）を接続しないと正しく受信できません。

■ テレビを見る

1

電源 を押すと本体電源表示ランプが点灯する

入力切換 を押すごとに、次のように変わる

テレビを見るときはテレビ表示にする

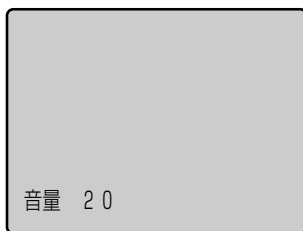
2

チャンネルボタンを押して**お好みのチャンネル**を選ぶ

- **チャンネル選択時は、リモコンのチャンネルボタンのほかに数字ボタン、本体のチャンネルボタンでも選ぶことができます。**

3

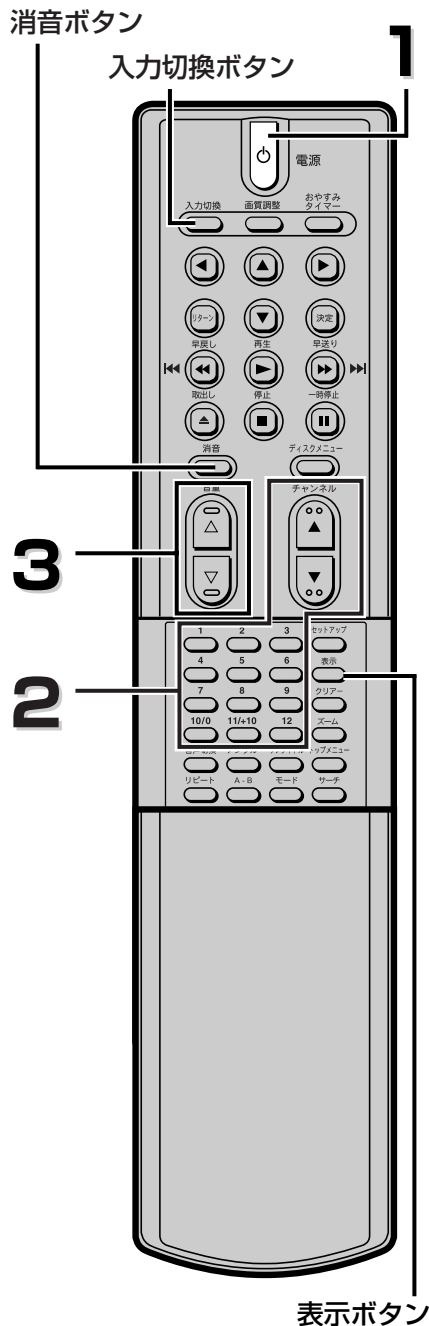
音量ボタンで音量を調節する

- **音量ボタンの △ を押すと音量が大きくなり、▽ を押すと音量が小さくなります。**

あどばいす

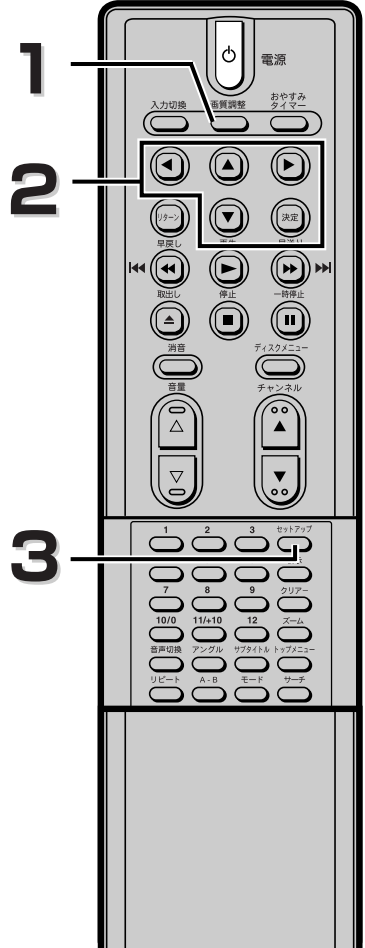
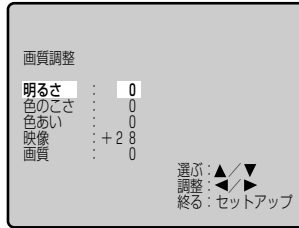
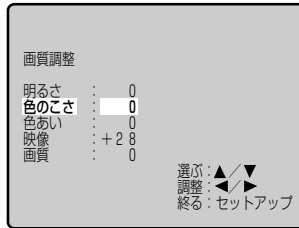
チャンネルなどを知りたいときは…

- 表示 を押します。
- ビデオ1入力端子に接続した機器をご覧になるときは「ビデオ1」(S端子を使用しているときは「Sビデオ1」)と表示します。
- ビデオ2入力端子に接続した機器をご覧になるときは「ビデオ2」と表示します。
- チャンネル表示を消すときは、もう一度 表示 を押します。

一時的に音声を消すには…

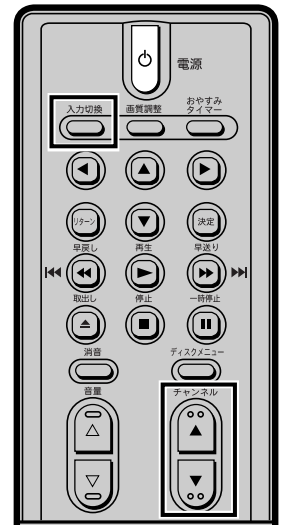
- 消音 を押すと音声が消え、電話がかかってきたときなどに便利です。
- 画面に赤色で「消音」の表示がでます。
- 音量をもとに戻すときは、もう一度 消音 を押します。
  音量△/▽ボタンを押しても、消音は解除されます。

■ お好みの画質で楽しみたいときは…

テレビ表示/ビデオ1(DVD)/ビデオ2の各モードで画質調整ができます。各モードで調整された値を記憶します。

1 画質調整 で画質調整画面を表示する

2 ▲ または ▼ で調整したい項目を選び、◀ または ▶ でお好みの数値に設定する

明るさ	明暗を調節できます
色のこさ	濃淡を調節できます
色あい	緑、赤の色調を調節できます
映像	鮮やかさ(コントラスト)を調節できます
画質	シャープネス感を調節できます

3 調整後、セットアップ で終了する

■ ビデオ入力端子に接続した機器を見るには…

- **入力切換ボタン**で「**ビデオ1**」、「**ビデオ2**」の画面を選びます。
- **チャンネル▲/▼ボタン**を押しても、「**ビデオ1**」、「**ビデオ2**」の画面を選ぶことができます。

あどばいす

- 手順2で ◀ または ▶ を押し続けると、数値を早くかえることができます。
- 数値は、+28〜0、0〜−28の間で調整してください。
- DVDセットアップ画面から画質調整画面を表示させる場合は、セットアップ を押して、決定 を押してください。
- ビデオ1の画質を変更するとDVDの画質も変更されます。
(DVDの画質を変更してもビデオ1の画質は変更されます。)

テレビ編

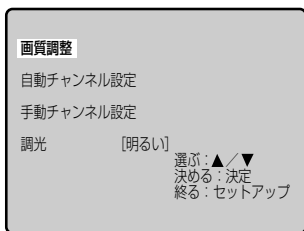
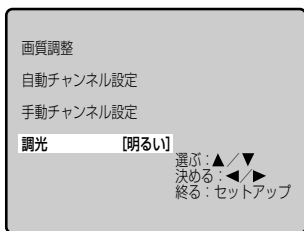
便利な機能

■ 調光設定

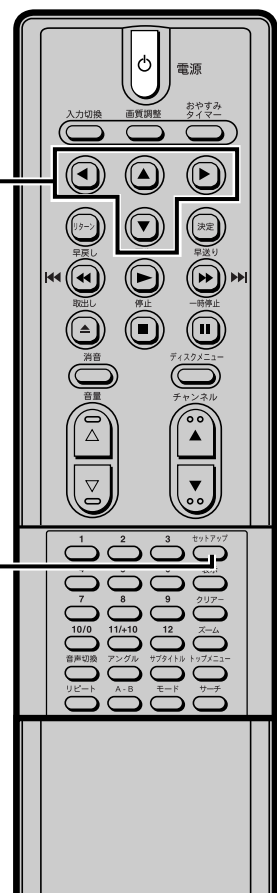
液晶画面のバックライトの明るさを調整します。

1 セットアップ でセットアップ画面を表示する

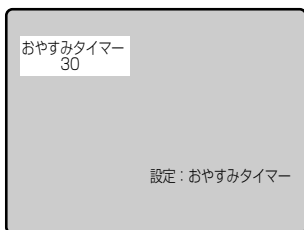
2 ▲ または ▼ で**調光**を選ぶ

2,3

1,4

3 ◀ または ▶ を押すごとに **［明るい］** ⇔ **［標準］** ⇔ **［暗い］** の順に切り換わる

4 セットアップ で終了し、通常画面に戻る

■ おやすみタイマーのセットのしかた

おやすみ前にテレビの消し忘れがないようにタイマーをセットできます。

- おやすみタイマー を押すごとに**30分単位**で**120分**まで設定できます。
- キャンセルする場合は おやすみタイマー を**切**がでるまで押します。
- 表示が消えるとセット完了です。

あどばいす

- おやすみタイマーセット中は おやすみタイマー で残り時間を表示します。
- 残り時間表示中に おやすみタイマー を押すたびに設定が変更できます。
  例） 残り時間が12分のとき・・・30分になります。
  　　残り時間が120分のとき・・・切になります。

テレビ編

DVD・CDを再生する

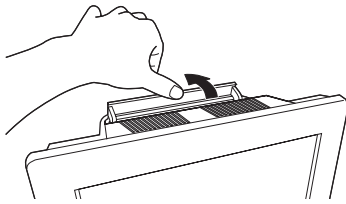
■ DVD、音楽用CD、JPEG、ピクチャーCDの再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

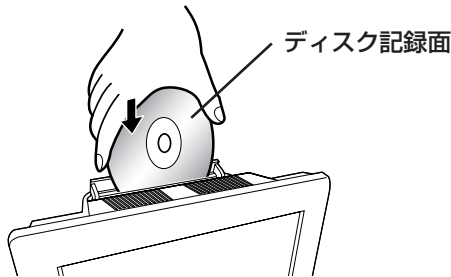
● 再生を始める前に…

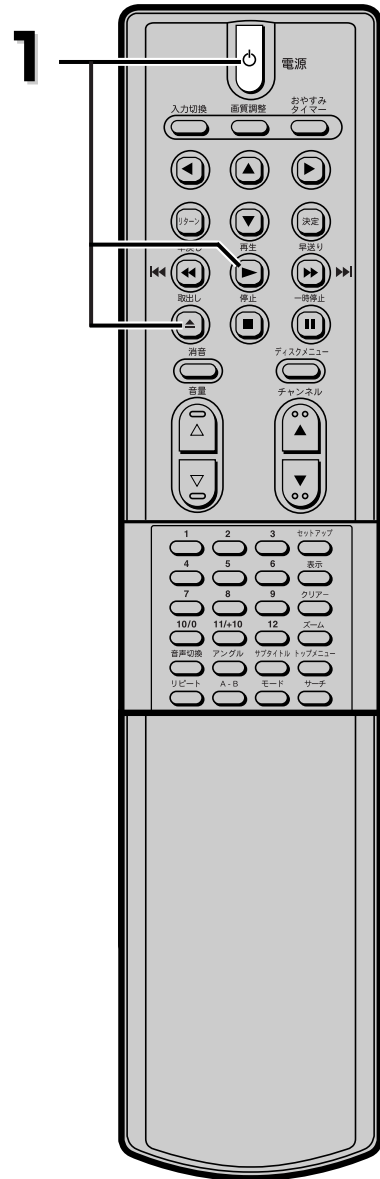
・ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
・電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

1 電源 を押して電源を入れる

再生 または 取出し を押してDVD操作モードにする

2 ディスク挿入口のフタを開く

3 再生するディスクをディスク挿入口に挿入する

・**記録面を手前にして挿入します。**

4 ディスク挿入口のフタを閉める

・**自動的に再生が始まります。(再生が始まらない場合は、再生ボタンを押してください。)**

あどばいす

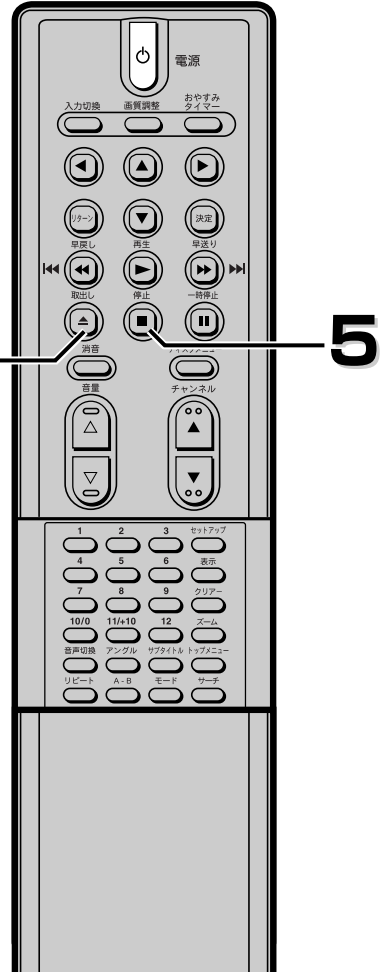
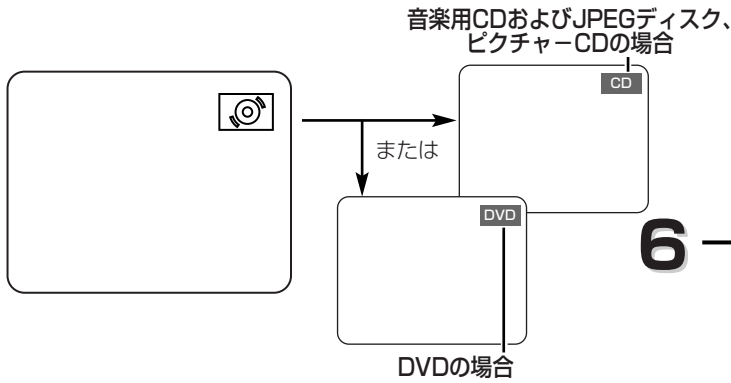
・片面記録ディスクが裏表逆になっていると、ディスクを傷つける恐れがあります。必ず裏表を確認の上、ご使用ください。
・2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。

DVD・CDを再生する

・ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
・メニュー画面が記録されているDVDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡ 40ページ]をご覧ください。

音楽用CDおよびJPEGディスク、ピクチャーCDの場合

または

DVDの場合

5 再生をやめるとき、 停止 ■ を押す

・リジューム オン が画面表示されます。
リジューム機能については、[➡ 32ページ]をご覧ください。

6 取出し ⏏ を押し、ディスクを取り出す

・ディスクを取り出したらディスク挿入口のフタを閉めてください。

画面に下記の表示がでた場合は、[➡ 74ページ]をご覧ください。

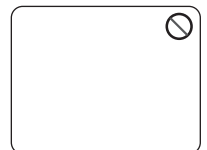
ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
––ディスクを取り出してください。–– 再生可能なディスクを挿入してください。	––ディスクを取り出してください。–– この地域での再生は禁止されています。 このディスクのリージョンコードは ：1＊＊＊＊＊	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

あどばいす

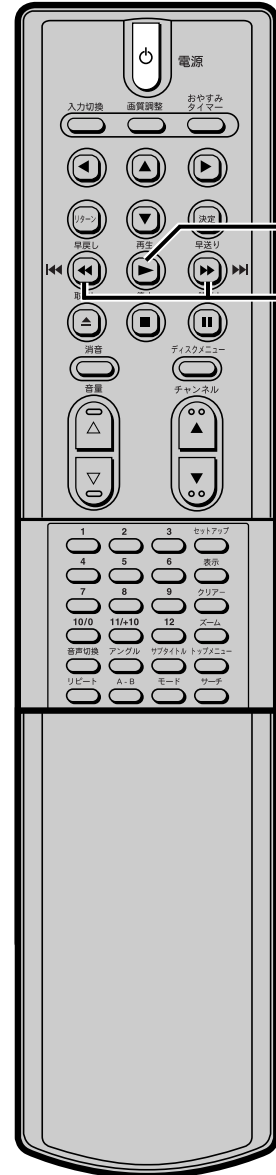
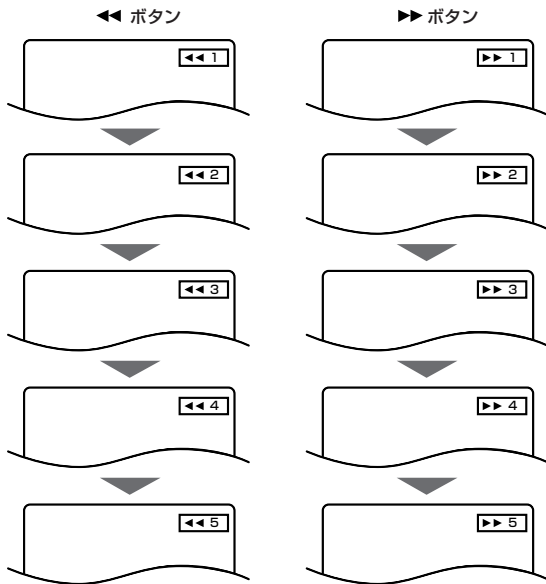
・本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
・ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。
・再生プログラム信号が備わっているDVDの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
・リージョンおよびALL以外のディスクを挿入した場合、リージョンエラーメッセージに、そのディスクのリージョン番号が表示されます。

DVD編

■ 早送り／早戻しをする DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

1

再生中に 早送り ⏩ ⏭ か ⏮ 早戻し ⏪ を1秒以上押す
(DVDの音声は消音となります。)

- DVDの場合は 早送り ⏩ ⏭ か ⏮ 早戻し ⏪ を1秒以上押すたびに、5段階に再生速度が変わります。
- DVDの場合、ディスクによって早送り/早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1（×2)、2（×8)、3（×20)、4（×50)、5（×100）です。
- 音楽用CDの場合、早送り/早戻しの速度の目安は1（×2)、2（×8)、3（×30）です。

2

再生 ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

- タイトルからタイトルの早送り/早戻しはできません。
- DVDで早送り／早戻し中に映像にブレが生じる場合は、「映像」設定で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 64~65ページ]

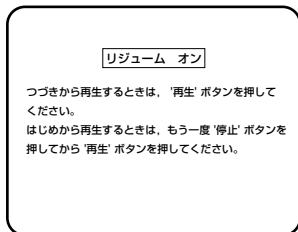
DVD・CDを再生する

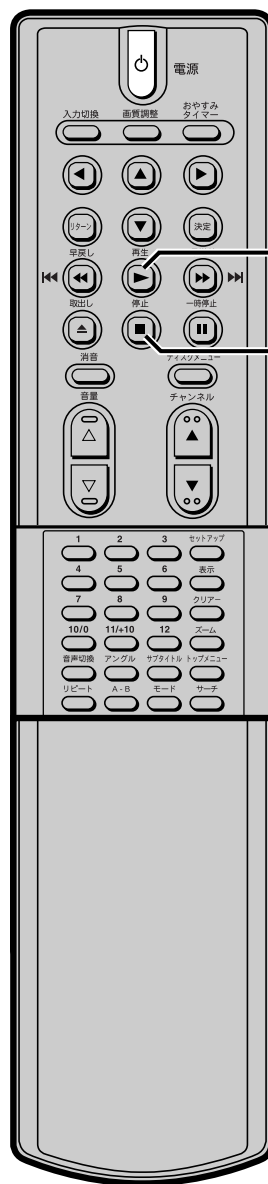
■ 続きから再生する（リジューム機能） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット C D JPEG

1 再生中に 停止 を押す

- 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

リジューム　オン

つづきから再生するときは，'再生' ボタンを押してください。
はじめから再生するときは，もう一度 '停止' ボタンを押してから '再生' ボタンを押してください。

2 再生 ▶ を押す

- 停止した位置から、続けて再生されます。

あどばいす

- テレビモード切り換え時や電源オフ時も、つづき再生の情報は本機で記憶しています。
- 次のような操作をした場合、つづき再生はできなくなります。
  - ・停止ボタンを2回押したとき
  - ・ディスクを取り出したとき

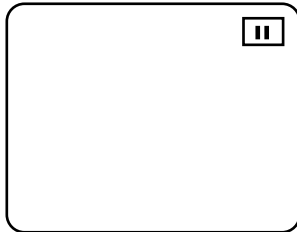
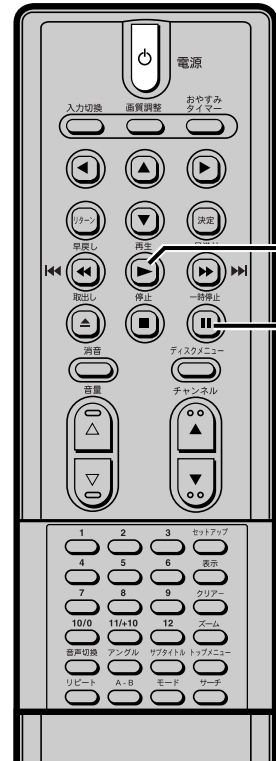
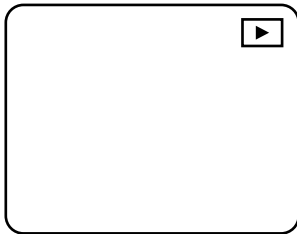
■ 一時停止（静止） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット C D JPEG

1

再生中に 一時停止 (II) を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVDおよびJPEGは静止画再生となります。
- 音楽用CDは一時停止となります。

2

再生を再開するには 再生 (▶) を押す

あどばいす

- DVDで一時停止中に映像にブレが生じる場合は、「映像」設定で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
  [➡ 64～65ページ]

■ チャプターやトラックを頭出しする（スキップ） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット C D JPEG

1

再生中に 早送り (▶▶) ▶▶I を押す

- 次のチャプター（トラック）を頭出しします。

再生中に I◀◀ 早戻し (◀◀) を押す

- 現在のチャプター（トラック）を頭出しします。さらに押すと前のチャプター（トラック）に戻ります。
- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。画面の左上に、現在のタイトル（TT）番号とチャプター（CH）番号が表示されます。
- 音楽用CDの場合は、トラックの頭出しができます。画面の左上に、現在のトラック（TR）番号が表示されます。

あどばいす

- ディスクによってはスキップ操作が禁止されている場合があります。

DVD編

DVD・CDを再生する

■ コマ送り再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

1 再生中に 一時停止 (II) を押す

2 一時停止中に 一時停止 (II) を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

3 再生を再開するには 再生 (▶) を押す

DVD編

あどばいす

- 本機はコマ戻しできません。
- コマ送り再生中に映像にブレが生じる場合は、「映像」設定で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 64〜65ページ]

■ 再生速度を微調整する（早見早聞／遅見遅聞再生） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

ドルビーデジタル方式で記録されたディスクにのみ有効な機能です。

1 再生中に モード を1回押す

- 現在の設定状態が表示されます。

2 決定 で“♪♪/♪/オフ”を切り換える

- ♪♪ ：約1.3倍速で再生を行います。（早見早聞再生）
- ♪ ：約0.8倍速で再生を行います。（遅見遅聞再生）
- オフ ：通常再生を行います。

3 再生 (▶) を押すと通常再生に戻る

あどばいす

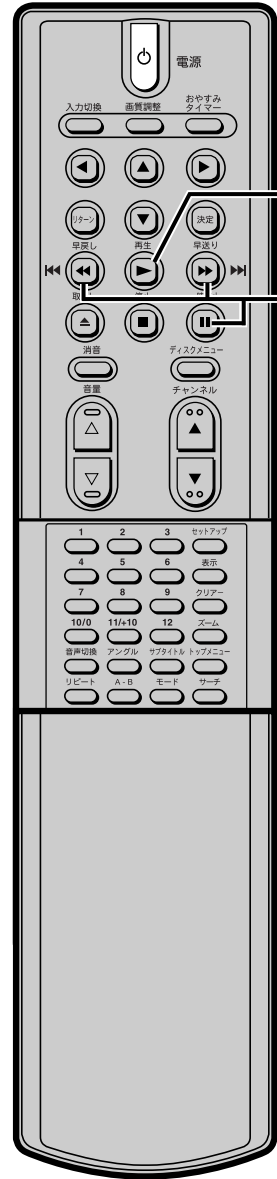
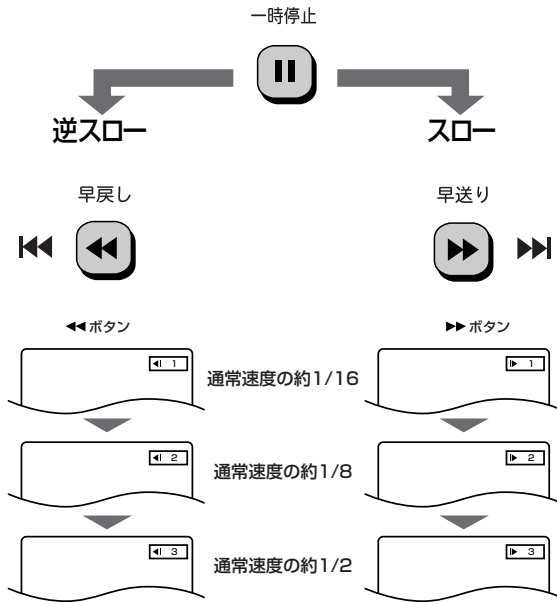
- 決定ボタン以外に ◀ ▶（左右カーソル）ボタンで設定を変更することも可能です。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中に再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中は音声（言語）切り換えはできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中はバーチャルサラウンド設定、黒レベル設定はできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- 同軸デジタル音声出力端子に接続している場合PCM音声が出力されます。

■ スロー再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

1

再生中に 一時停止 を押し 早送り ⏭ か ⏮ 早戻し を1秒以上押す
（音声は消音のままです。）

- スローモーションモードで再生が行われます。
- 早送り ⏭ か ⏮ 早戻し を1秒以上押すたびに3段階に再生速度が変わります。
- ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1（1/16）、2（1/8）、3（1/2）です。

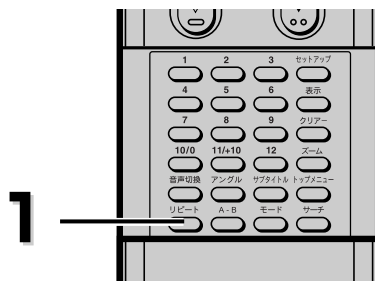
2

再生 を押すと通常の再生速度に戻る

DVD編

あどばいす

- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- スロー再生中に映像にブレが生じる場合、「映像」設定で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 64～65ページ]
- 音楽用CDのスロー再生はできません。

■ 繰り返し再生（リピート再生） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

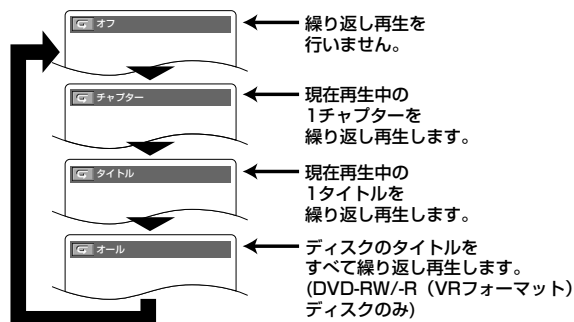
1 再生中に リピート を押す

DVDの場合

- 1つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生します。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オフ ← 繰り返し再生を行いません。

チャプター ← 現在再生中の1チャプターを繰り返し再生します。

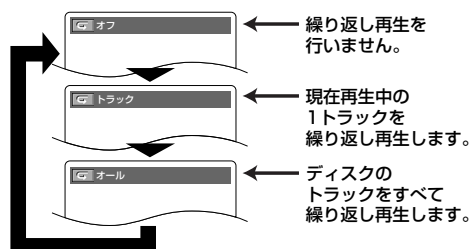
タイトル ← 現在再生中の1タイトルを繰り返し再生します。

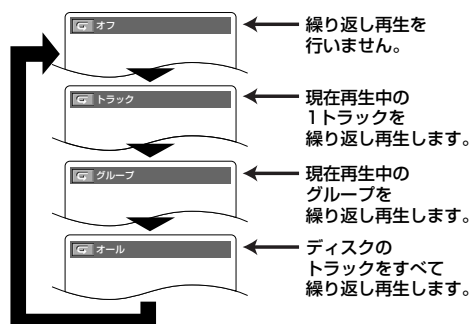
オール ← ディスクのタイトルをすべて繰り返し再生します。(DVD-RW/-R（VRフォーマット）ディスクのみ)

音楽用CDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オフ ← 繰り返し再生を行いません。

トラック ← 現在再生中の1トラックを繰り返し再生します。

オール ← ディスクのトラックをすべて繰り返し再生します。

JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

プログラム/ランダム再生中に リピート を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。[CD：➡38〜39ページ] [JPEG：➡50〜51ページ]

あどばいす

- ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- リピート設定をしたあと、ほかのタイトル、チャプター、トラックにサーチさせると、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- A-Bリピート設定中は、リピート設定できません。

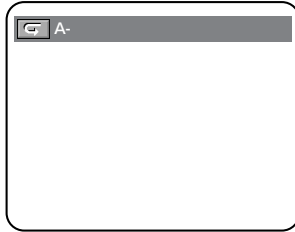
DVD編

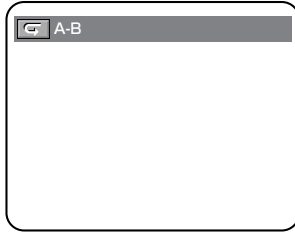
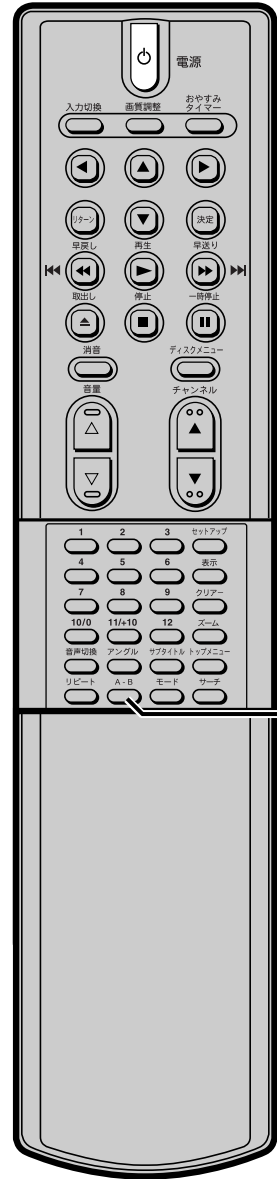
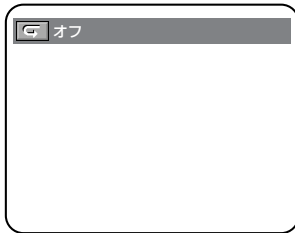
■ 繰り返し再生（A-Bリピート再生）

DVD-V　DVD-RW/-R VRフォーマット　CD

選択したセクションを繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい箇所で
A-B を押す

• 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の最終点にしたい箇所で、
再度 A-B を押す

• 選択されたセクションが繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、 A-B を押して
リピート再生をオフに切り換える

DVD編

あどばいす

• DVDの場合、A-Bリピートは、同じタイトル内にのみ設定することができます。
• 音楽用CDの場合、A-Bリピートは、同じトラック内にのみ設定することができます。
• DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。

• 設定された開始ポイント（A）をキャンセルするには、 クリアー を押すと、“オフ”と表示されます。
• 開始ポイント（A）のみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端が終了ポイント（B）に設定されます。

DVD・CDを再生する

■ プログラム再生　CD

再生中の場合、停止を押します。

1 ディスクを挿入し、停止中に モード を押す

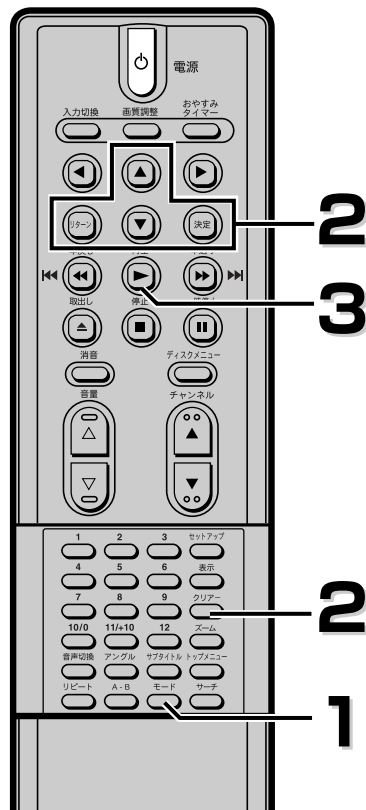
- プログラム設定画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ を押して、希望するトラックを選択し、

決定 を押す

- 選択したトラックのプログラム数と合計時間が画面上側に表示されます。
- 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリアー を押します。
- 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す“▷▷|”（|◁◁）が表示され、早送り ⏭ または ⏮ 早戻し で入力したトラックの確認ができます。
- プログラム再生を行わずにもとの画面に戻るには、リターン を押します。

3 再生 ▶ を押す

- プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように動作します。

● **停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。**
再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。

● **停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます（プログラムの設定は保持されます）。**
再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、モードボタンを押してから、再生ボタンを押します。

あどばいす

- プログラム再生中はプログラムの追加はできません。このような操作を行う場合は現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- プログラムの設定は、電源が切れたり､テレビ操作モードに切り換えたり、ディスクを取り出すと、消去されます。
- プログラム再生中に、プログラム設定した次のトラックを再生するときは 早送り ⏭ を押してください。
- 99曲までプログラムできます。
- 設定したプログラム画面のページを切り換えるときは、⏮ 早戻し 早送り ⏭ を押してください。
- すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- 1度設定したトラック順を入れかえることはできません。トラック順を変更したい場合は、手順2で クリアー を使って入力しなおしてください。

■ ランダム再生 CD

再生中の場合、停止を押します。

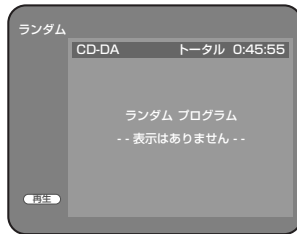
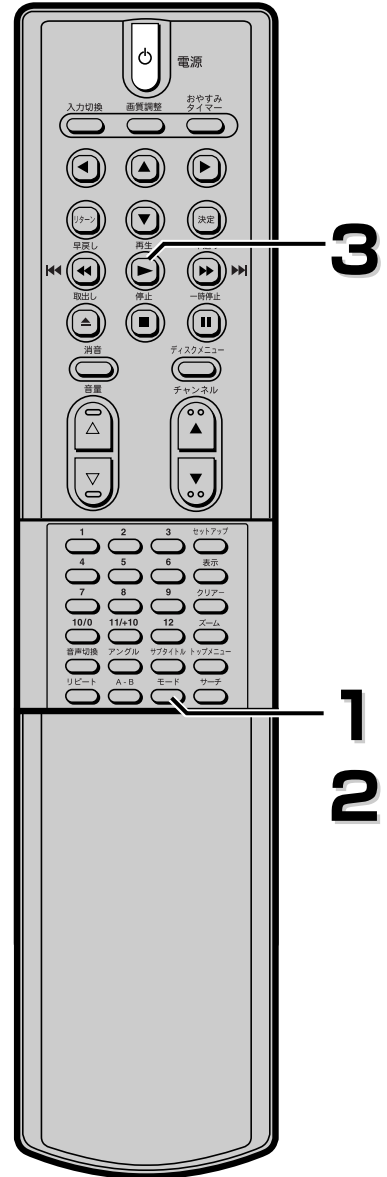
1 停止中に モード を押す

・プログラム設定画面が表示されます。

2 モード をもう一度押す

・ランダム設定画面が表示されます。

・ランダム再生を行わずにもとの画面に戻るには、リターン を2回押します。

3 再生 を押す

・ランダム再生が始まります。

あどばいす

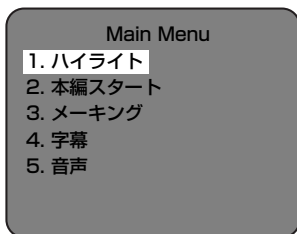
・ランダム再生中は、プログラム再生はできません。
・ランダム再生は、電源が切れたり、再生を停止したり、ディスクを取り出すと解除されます。
・ランダム再生中は、希望のトラックからの再生はできません。
・ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。

希望するところから再生する(サーチ)

■ ディスクメニューを使う　DVD-V

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。

(例)

● 表示される内容はDVDによって異なります。
　ここでは一般的な操作の例を示しています。

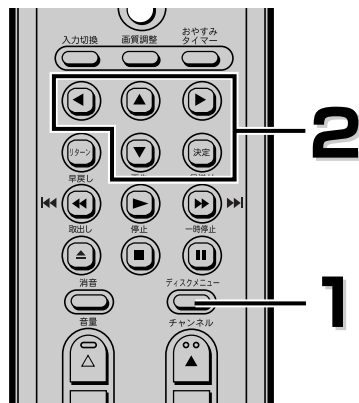
1 ディスクメニュー を押す

・ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

・カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。次に 決定 を押します。

・ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

あどばいす

・表示されるメニューは、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をお読みください。

■ タイトルメニューを使う　DVD-V

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

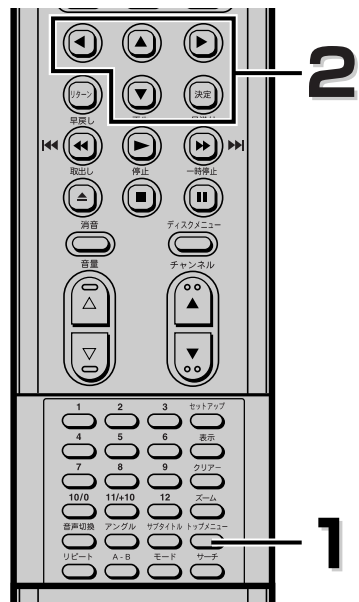
準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。

1 トップメニュー を押す

・タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

・カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。次に 決定 を押します。

・ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

再生中にメニュー画面を呼び出すには？

● ディスクメニュー を押してディスクメニューを呼び出します。

● トップメニュー を押してタイトルメニューを呼び出します。
（ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

DVD編

■ VRフォーマットで記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生する DVD-RW/-R VRフォーマット

VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、“オリジナル”、または“プレイリスト”を選択して再生することができます。

1 停止中に ディスクメニュー を押す

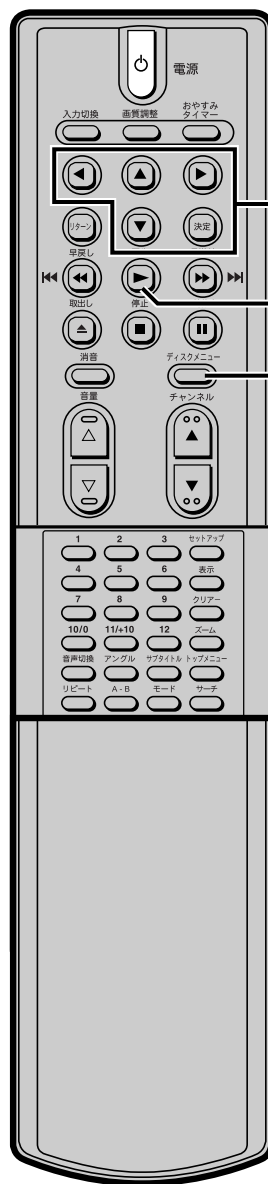
• 現在設定されているメニューが表示されます。

2 ◀ / ▶ 押してオリジナル、またはプレイリストを選択する

• プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。
• 設定の状態を切り換えると、つづき情報(リジューム)は解除されます。

3 ▲ / ▼ を押して希望するタイトルを選択し、

決定 または 再生 を押す

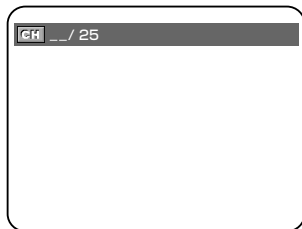
• 選択したタイトルの再生が始まります。

あどばいす

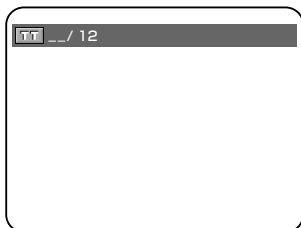
• DVDレコーダーで録画して作られたタイトルをオリジナルと呼びます。
• オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
• 本機は、弊社のDVDレコーダーで記録された未ファイナライズディスクに対応しています。他社製のDVDレコーダーで記録されたファイナライズしていないディスクは再生できません。
• ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
• VRフォーマットで記録されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトル消去・記録の繰り返し）やプレイリスト作成により、再生中に映像や音声が一瞬止まることがあります。
• VRフォーマットはDVD-RW/-Rディスクを使って、プログラム編集などのDVDレコーダーならではの機能を楽しむための録画方式です。

希望するところから再生する(サーチ)

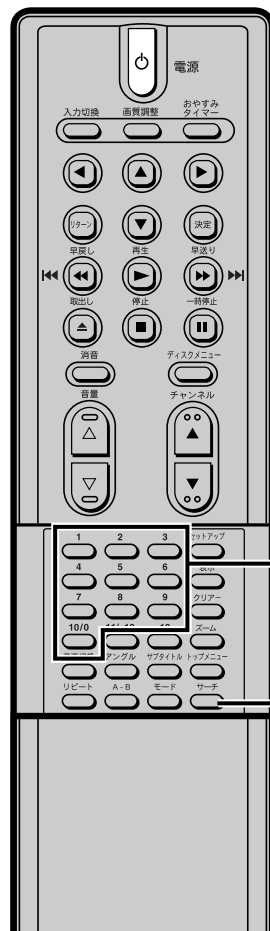
■ 希望するチャプターまたはタイトルからの再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

1 再生中に サーチ を押す

- チャプターサーチ画面が表示されます。

2 タイトル番号を変更する場合は、もう一度 サーチ を押す

- タイトルサーチ画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、 10/0 を押してから希望の数字を押してください。
  例）チャプター1： 10/0 → 1
- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）チャプター1： 1

スキップボタン(⏮ 早戻し 、 早送り ⏭)の使い方

再生中に 早送り ⏭ を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばし、次のチャプターの再生を始めます。

⏮ 早戻し を1度押すと、再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。

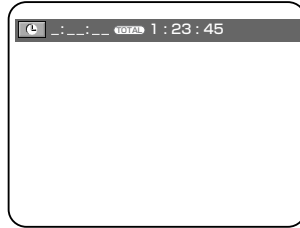
⏮ 早戻し を続けて2度押すと一つ前のチャプターに戻ります。

あどばいす

- DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプター番号をサーチし、再生されます。
- 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生されます。
- 入力をやり直すときは、 クリアー を押してください。

■ 希望するタイムカウントからの再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

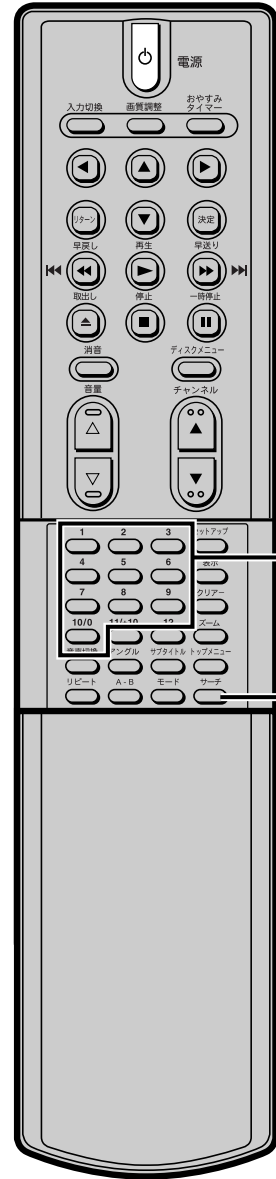
1 再生中に サーチ を3回押す（CDの場合は2回押す）

• タイムカウントサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンで希望の時間を入力する

• 入力した時間から再生されます。

例1 ： 1時間5分10秒

1 → 10/0 → 5 → 1 → 10/0

例2 ： 1分5秒

あどばいす

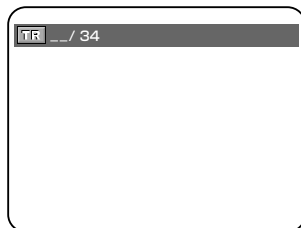
• DVDの場合、再生中のタイトルの中でのタイムサーチはできますが、ほかのタイトルへのタイムサーチはできません。
• 音楽用CDの場合、トラックの中でのタイムサーチはできますが、CD全体としてのタイムサーチはできません。
• ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
• ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
• 数字ボタンの入力をやり直す場合は、 クリアー を押してください。
• タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ0が表示されます。たとえばタイトルの総時間が10分未満ならば、“0：0_：_ _”と表示されます。
• DVDの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
• プログラム再生／ランダム再生中はサーチ機能は使用できません。

DVD編

希望するところから再生する(サーチ)

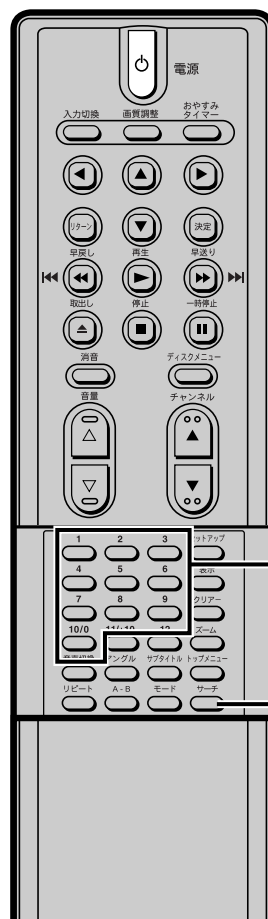
■ 希望するトラックからの再生　CD JPEG

1　再生中に サーチ を押す

- トラックサーチ画面が表示されます。

2　数字ボタンで希望するトラック番号を入力する

- 選択したトラックから再生が始まります。
- ディスクに2桁以上のトラックがあるとき、1桁の数字を入力するには、10/0 を押してから希望の数字を押してください。
  例）トラック1：10/0 → 1
- 1桁のトラックしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）トラック1：1

DVD編

スキップボタン(⏮ 早戻し、早送り ⏭)の使い方

再生中に 早送り ⏭ を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばし、次のトラックの再生を始めます。

⏮ 早戻し を1度押すと、再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。

⏮ 早戻し を続けて2度押すと一つ前のトラックに戻ります。

あどばいす

- 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、11/+10 を押し、数字を入力します。
  （例）トラック14：11/+10 → 1 → 4
- 入力をやり直すときは、クリアーボタンを押してください。
- プログラム再生／ランダム再生中はサーチ機能は使用できません。

■ JPEGディスクの再生 JPEG

1 JPEGが記録されたディスクを挿入する

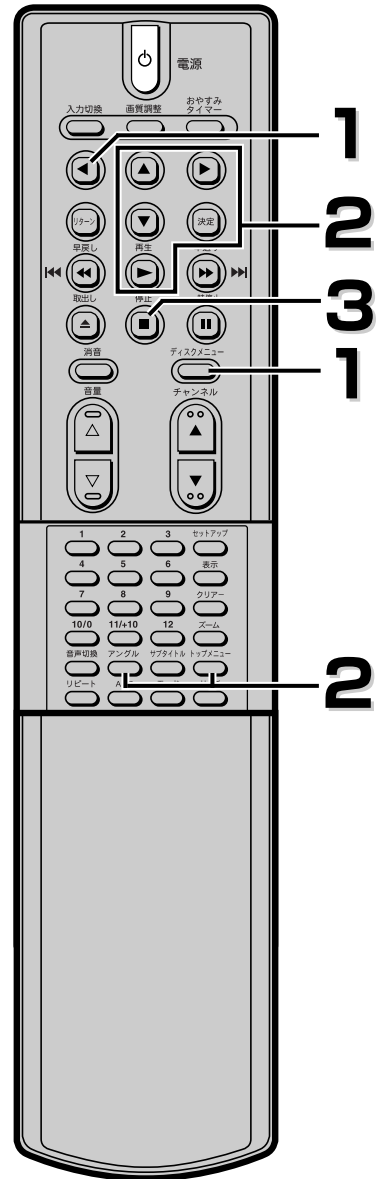
- ディスクメニューキーを押すと、ファイルリストが表示されます。
- グループ（フォルダ）名の先頭には“□”が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には“☺”が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す“▽”が表示されます。前のページがある場合には“△”が表示されます。“▽”の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。

- グループの中にJPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- ◀ を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。
- 再生中または停止中に ディスクメニュー を押すと、ファイルリストが表示されます。

2 ▲ / ▼ で再生したいグループまたはトラックを選択し、再生 ▶ または 決定 を押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。
グループを選択した場合
▶ または 決定 を押し、次に ▲ / ▼ でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、再生 ▶ または 決定 を押すと再生が始まります。

- トップメニュー を押すと1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層のリスト表示・再生はできません。
- JPEG画像が表示されている間は、アングル を押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

3 再生を停止するときは 停止 ■ を押す

あどばいす

- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生ができません。
- プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。
- JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

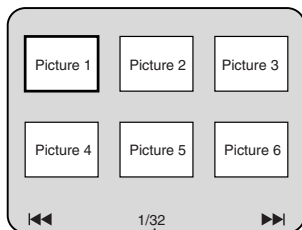
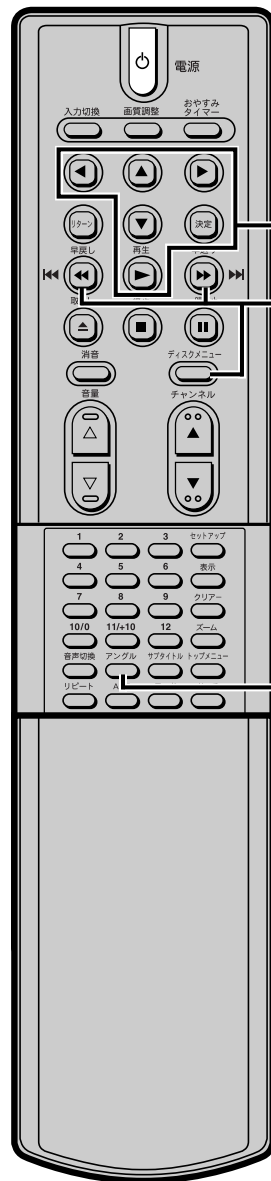
DVD編

■ ピクチャーCDの再生 JPEG

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。
・ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細はコダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭でお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入し停止中に、ディスクメニューを押す

現トラック番号/総トラック数

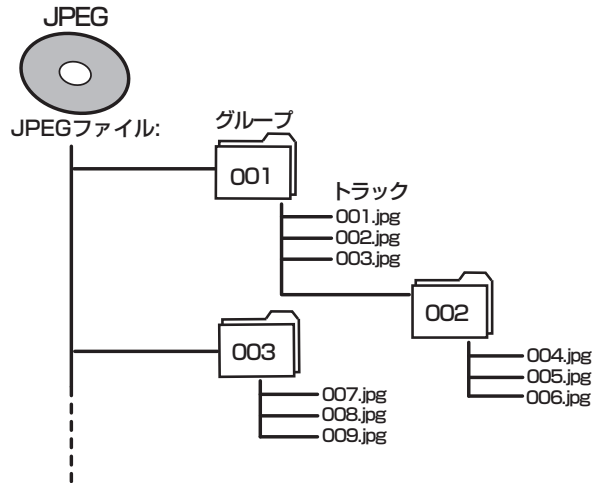
- ピクチャーCDのメニューが表示されます。
- 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す"►►I"が表示されます。前のページがある場合には"I◄◄"が表示されます。
- ⏮ 早戻しまたは早送り ⏭を押して、表示したいページを選択します。
- 現在のトラック番号と総トラック数は中央下部に表示されます。
- すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 トラックを選択する

- カーソルボタン[▲ / ▼ / ◄ / ►]を押して再生したいトラックを選択し、再生または決定を押します。
- 選択されたトラックから画像再生が始まります。トラックは「その他」の設定の[スライドショー]で設定された時間（5秒間または10秒間）で表示され、次のトラックに移ります。
- JPEG画像が表示されている間は、アングルを押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

あどばいす

- 再生中にメニューボタンを押すと[⃠（禁止マーク）]が表示されます。ピクチャーCDのメニューを再度表示させたい場合は、停止ボタンを押してからメニューボタンを押してください。
- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

■ JPEGファイル形式について

- 「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- ディスクに記録されたJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。

＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA（Japanese Electronic Industry Development Association）によって制定されたものです。

- 拡張子が「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはJPEGメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」がついたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズがでることがあります。
- また本機はコダックピクチャーCDに収められたJPEGファイルも表示可能です。
  ピクチャーCDを再生すると、テレビで写真画像をお楽しみいただけます。

＊ピクチャーCDとは従来のフィルムカメラによって撮影された画像をデジタルデータ化しCDに記録したものです。
ピクチャーCDについての詳細はコダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。

再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 7MB以下	最大:6,300×5,100ピクセル 最小:32×32ピクセル

- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- 9階層以降の階層は再生できません。

あどばいす

- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

■ スライドショーモード JPEG

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

1 再生中に[JPG]が表示されるまで

モード を繰り返し押す

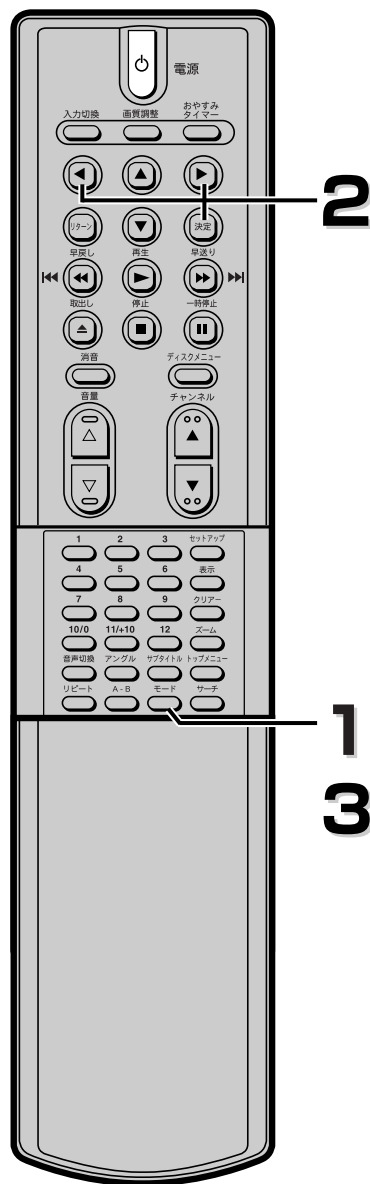
- スライドショーモード画面が表示されます。
- スライドを見るように画面を順番に表示します。
- 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCDメニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2 決定 または ◀ / ▶ を押す

- スライドショーモードが切り換わります。

－ カット イン／アウトモード：
完全な画像を順次表示していきます。

－ フェード イン／アウトモード：
次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

3 モード を押して終了する

あどばいす

- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。

■ JPEGファイルの画像サイズを調整する JPEG

JPEG画像のサイズによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

1

再生中に[ ]が表示されるまで

モード を繰り返し押す

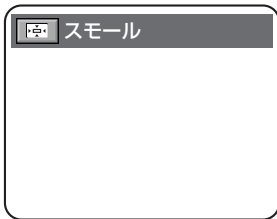
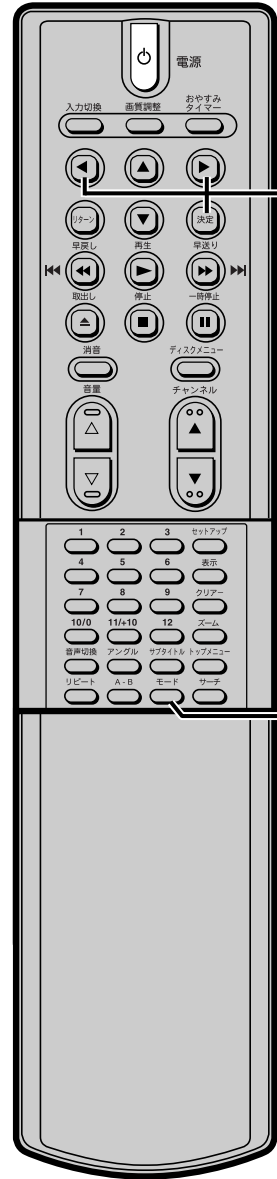
- **画像サイズ設定画面が表示されます。**
- **停止中、またはファイルリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。**

2

決定 または ◀ / ▶ で設定を切り換える

－ノーマル：100%の画面サイズで表示します。

－スモール：95%の画面サイズで表示します。

3

モード を押して終了する

DVD編

あどばいす

- **[スモール]に設定しても、効果のあらわれない画像があります。**
〈例〉画像サイズの小さなファイルなど

■ JPEGディスクをプログラム順に再生する JPEG

1 JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまで モード を繰り返し押す

- プログラム画面が表示されます。

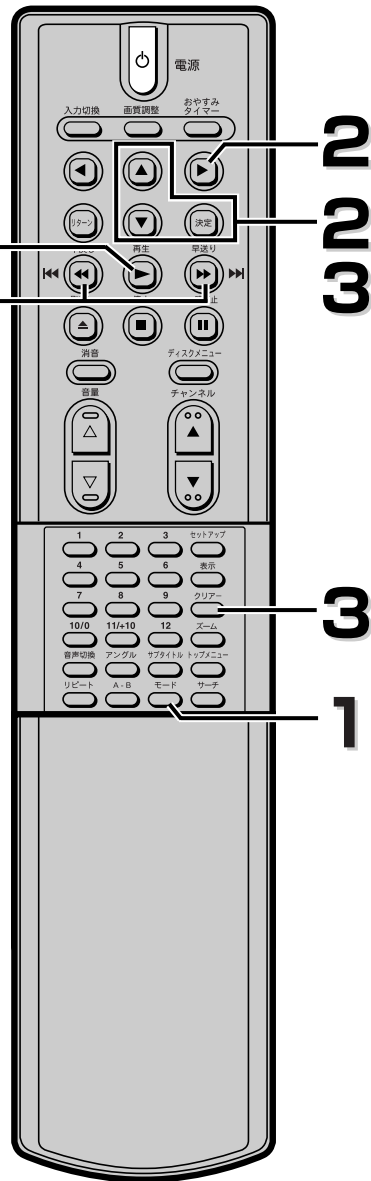
2 ▲ / ▼ でグループを選択し、決定 または ▶ を押す

- リスト画面が表示されます。

3 ▲ / ▼ でトラックを選択し、決定 を押す

- 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリアー を押します。
- 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す"▷▷|"（|◁◁）が表示され、早送り ⏭または⏮ 早戻し で入力したトラックの確認ができます。

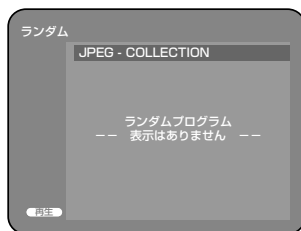
4 再生 ▶ を押す

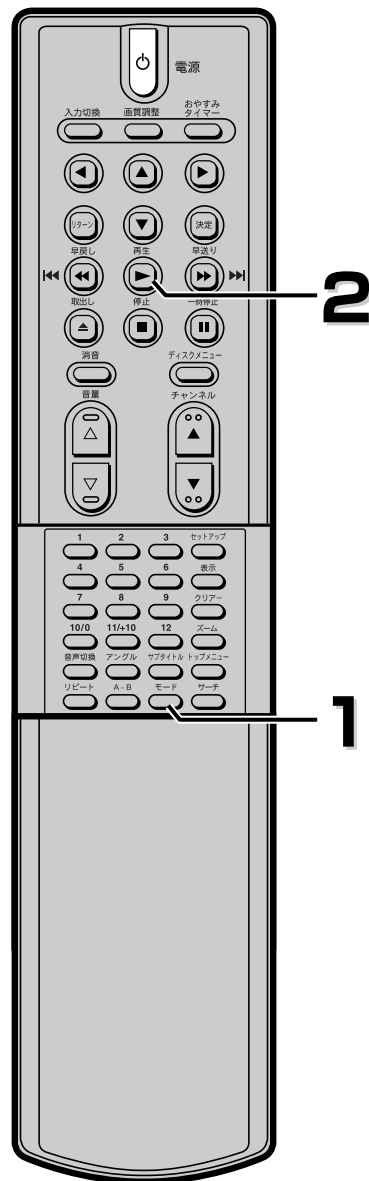
- プログラムされている順序で再生が開始します。

あどばいす

- クリアーボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの1番下の[オールクリア]を選択します。
- リターンボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態でファイルリストかピクチャーCDメニューが表示されます。
- プログラム再生を止めるには、停止ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、モードボタンを押してから再生ボタンを押します。
- 電源を切る、またはディスクを取り出すとプログラム設定は解除されます。
- 最大プログラム数は99トラックまでです。

DVD編

■ JPEGディスクをランダムに再生する JPEG

1 JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまで モード を繰り返し押す

2 再生 を押す

・ランダム再生が始まります。

あどばいす

・ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
・ランダム再生中に停止ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

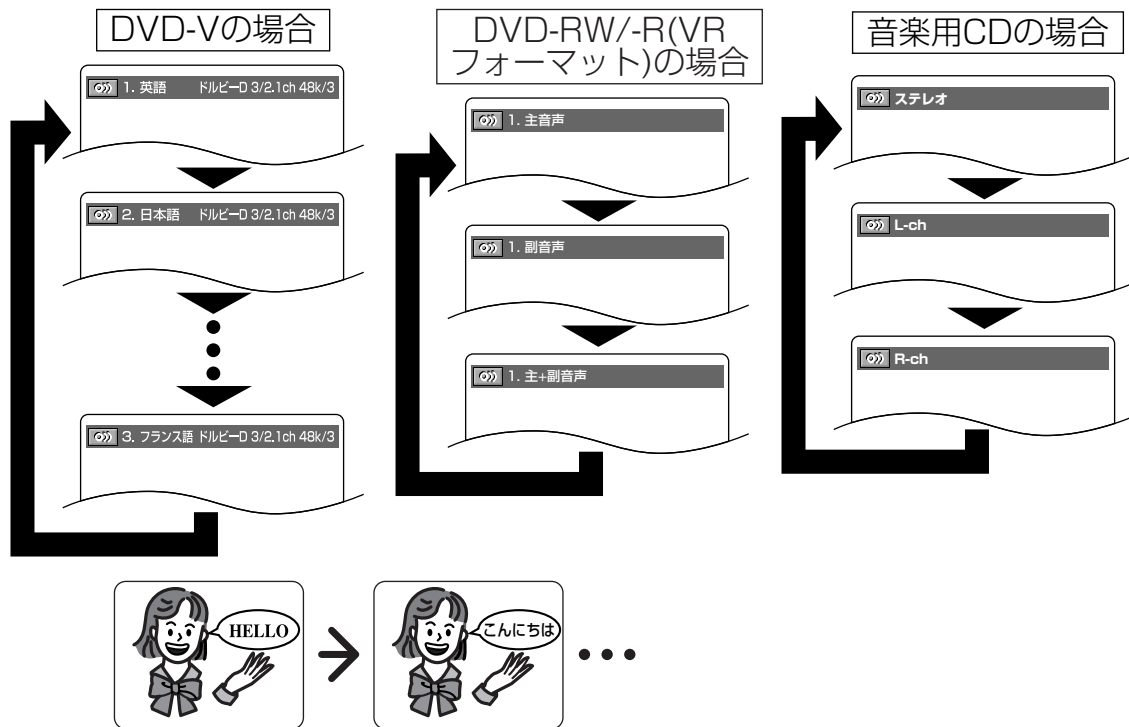
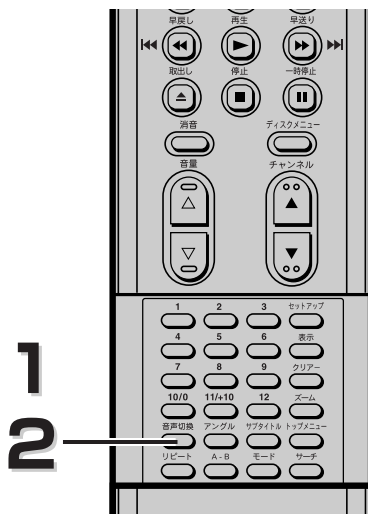
再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 音声（言語）をかえる DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

本機には、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

1 再生中に 音声切換 を押す

2 音声切換 を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

- ディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても音声切換ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。
- 音楽用CDの場合、ステレオ／左チャンネル（L-ch）／右チャンネル（R-ch）に切り換えることができます。
- 二重音声（二カ国語）で録画されているDVD-RW/-Rでは、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。

あどばいす

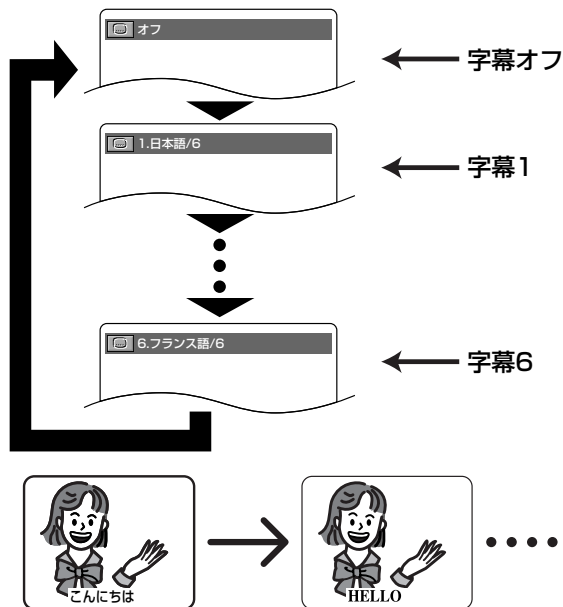
- 音声切換ボタンを繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは、その言語がDVDに含まれていません。
- 電源投入時は、「言語」設定で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、DVDに入っている言語が選ばれます。 [➡ 60〜62ページ]
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には“日本語”や“英語”のほかに、アルファベット3文字や“−−−”と表示される場合があります。
- 早見早聞/遅見遅聞再生中は、設定の変更ができません。
- DVD-RW/-R(VRフォーマット)で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主+副音声の切り換えはできません。
- デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRフォーマットのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。

■ 字幕（言語）をかえる　DVD-V　DVD-RW/-R VRフォーマット

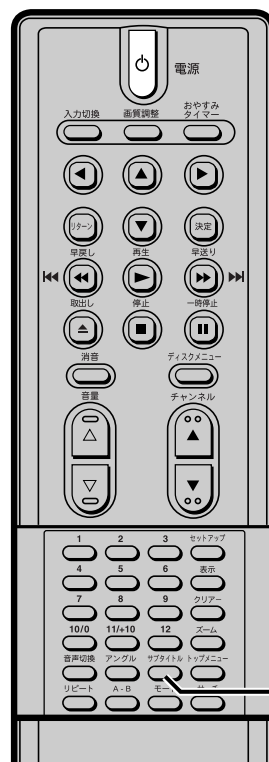
本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に サブタイトル を押す

2 さらに サブタイトル を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語）は、使用中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。
- DVDによっては、複数の言語が入っていてもサブタイトルボタンが作動しないことがあります。このようなDVDの場合は、メニュー画面で字幕を切り換えてください。

- サブタイトル を押すと字幕(言語）が、字幕１、字幕2---と言語が切り換わります。

字幕(言語)オン/オフの切り換えかた

1 再生中に サブタイトル を押す。

2 カーソルボタン ◀ / ▶ を押してオン/オフを切り換える。

DVD編

あどばいす

- サブタイトル を数回押しても希望する言語が表示されないときは､その言語の字幕がDVDに含まれていません。
- 電源投入時は、「言語」設定で選択されている字幕(言語)に戻ります。選択された字幕(言語)がDVDに含まれていないときは､DVDに入っている字幕(言語)が選ばれます。　[➡ 60〜62ページ]
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は約5秒後に消えます。
- “なし”が画面上に表示されたときは､字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、“日本語”や“英語”のほかに、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。

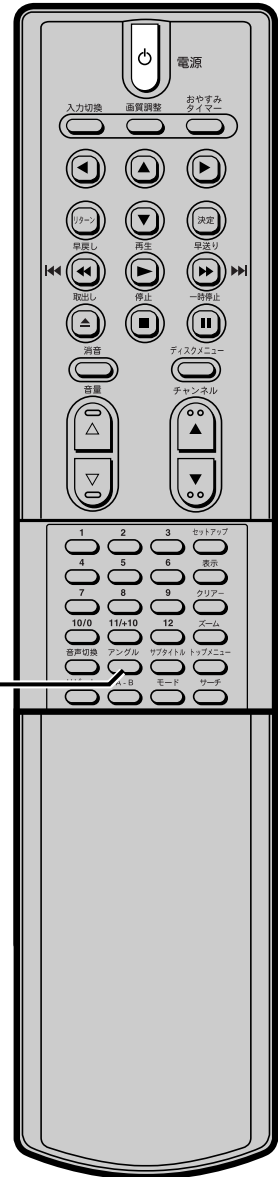
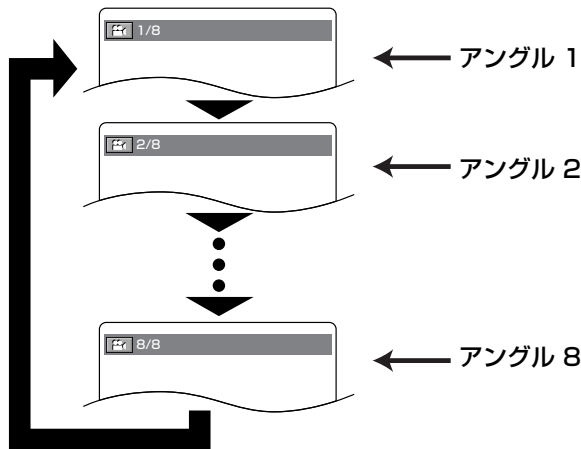
■ アングル（カメラアングル）をかえる DVD-V

本機には希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中に アングル を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「禁止アイコン」が現れた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に アングル を押す

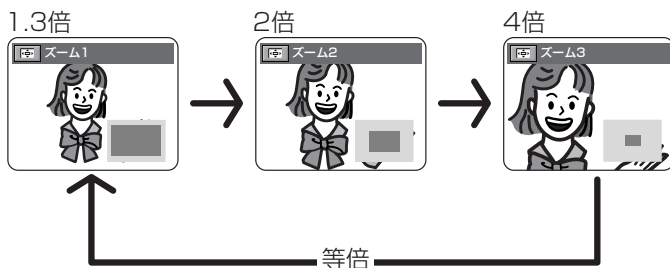
- アングル を押すたびに、アングルに応じて再生画面が切り換わります。

あどばいす

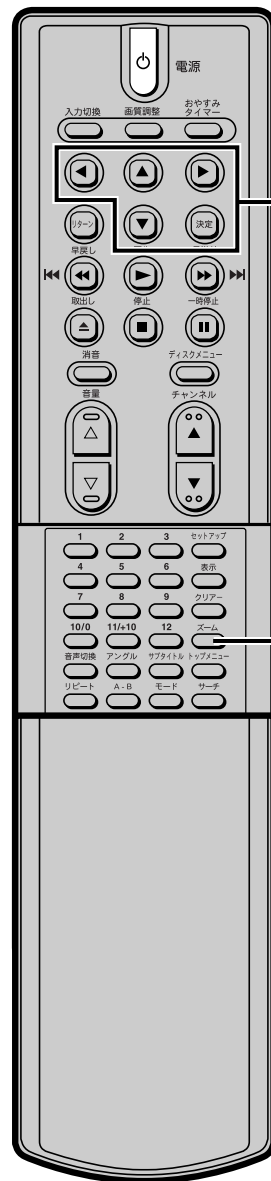
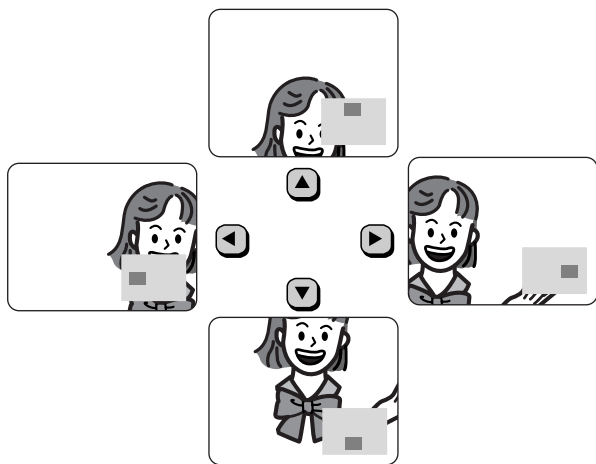
- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- その他の設定で[アングルアイコン]の設定を[オフ]にしている場合はアングルアイコンは表示されません。
[➡ 70～71ページ]

■ ズーム再生（画面上で拡大） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット JPEG

お好みにより画面上で1.3倍、2倍、4倍の大きさに拡大できます。

1 再生中に ズーム を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ズーム を繰り返し押すと、3段階の切り換えができます。
- ディスクによってはズーム3（4倍）ができないものもあります。

2 ズーム再生中に ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。
- 現在拡大されている箇所は画面右下の表示のカーソル部分（青色）です。
- 画面右下の表示は 決定 を押して表示のオン/オフを行うことができます。

あどばいす

- ズーム機能は、操作表示画面が表示されている間は作動しません。
- ズームフレームを上下左右に移動するのに時間がかかる場合があります。
- JPEGでは、1.3倍ズームと4倍ズームはできません。
- JPEGの2倍ズームを行うと、画面上には[ズーム1]と表示されます。
- JPEGでは、ズームフレームが表示されません。

再生中の設定（お好みに合わせて）

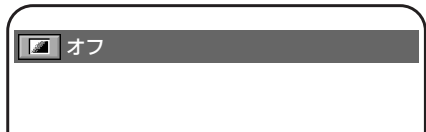
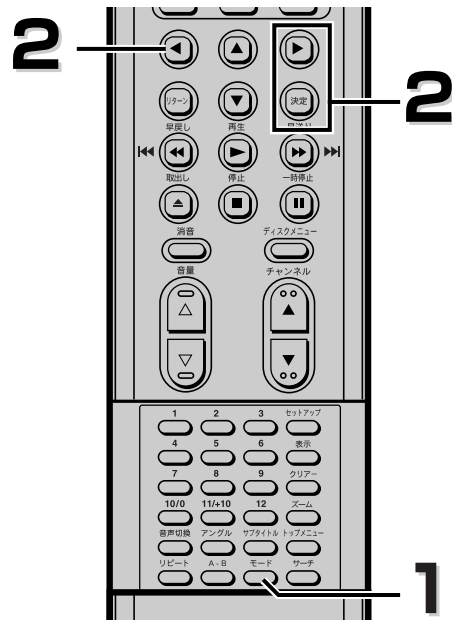
■ 黒レベル設定　DVD-V　DVD-RW/-R VRフォーマット

黒レベルをオフにすると、画面で明るいところを暗くします。(初期設定はオン)

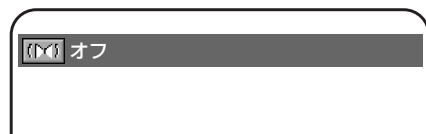
1 再生中に モード を2回押す

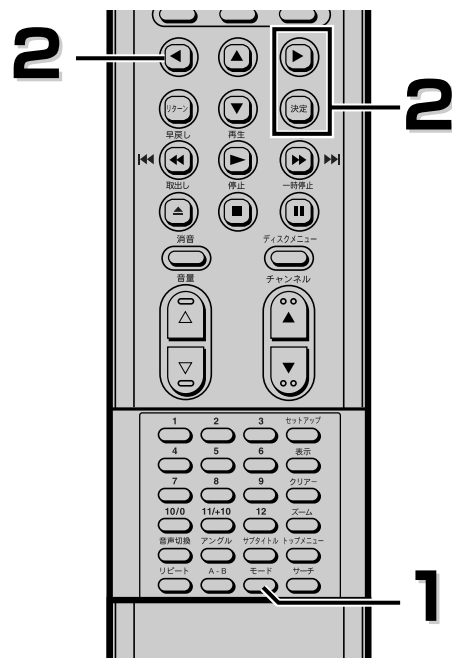
オフ

2 決定 または ◀ / ▶ でオン/オフを切り換える

DVD編

■ バーチャルサラウンド設定　DVD-V　DVD-RW/-R VRフォーマット　CD

バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。(初期設定はオフ)

1 再生中にバーチャルサラウンド設定画面が表示されるまで モード を押す

2 決定 または ◀ / ▶ で［1 / 2 / オフ］（1：標準 2：強）を切り換える

- ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を［オフ］にしてください。
- 音楽用CDでサウンドモードを[ステレオ]以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。

あどばいす

- 黒レベル設定は、早見早聞／遅見遅聞再生中は設定の変更はできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中はバーチャルサラウンド設定の変更はできません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンドの各設定値は、電源をオフにしても記憶されています。
- 96kHzの音源に対して、バーチャルサラウンド設定を有効にすると、48kHzにダウンサンプリングされます。

■ マーカー設定 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

マーカー機能を使って、マーカー設定した箇所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

● マーカーを設定する

1 再生中に サーチ を4回押す（CDの場合は3回押す）

2 ◀ / ▶ で設定されていない1～10までの数字を選ぶ

- 設定されていなければ、"＿＿：＿＿：＿＿"と表示されます。

3 決定 を押す

- マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。

4 サーチ または リターン を押す

- 再生画面に戻ります。

● マーカー設定した箇所から再生する

1 再生中に サーチ を4回押す（CDの場合は3回押す）

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び 決定 を押す

- 選択された箇所から再生が始まります。

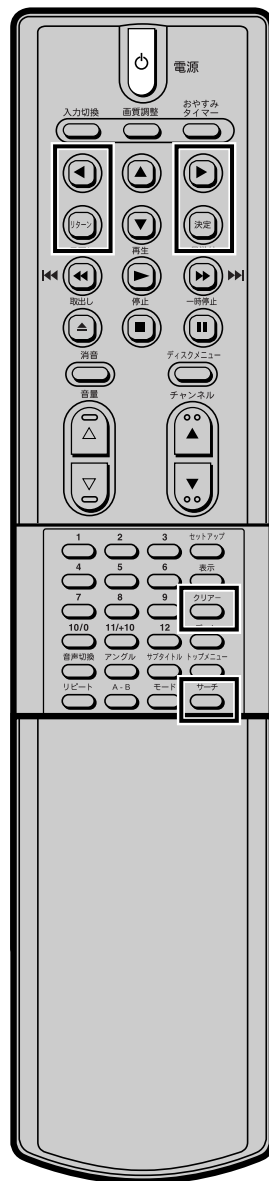
● マーカー設定を削除する

1 再生中に サーチ を4回押す（CDの場合は3回押す）

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び クリアー を押す

- すべてのマーカー設定を削除するには、▶ で"AC"を選び、決定 を押します。

3 サーチ または リターン を押す

- 再生画面に戻ります。

あどばいす

- 設定したマーカーは電源をオフにするか、ディスクを取り出すと削除されます。

DVD編

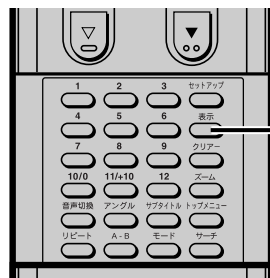
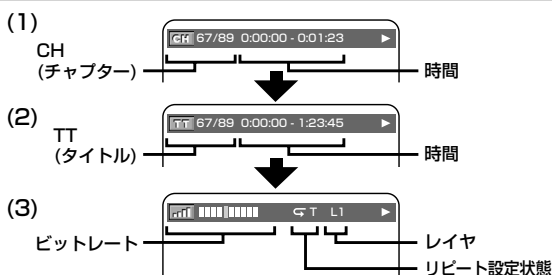
再生中の情報を見る（画面表示）

■ 画面表示の切り換え　DVD-V　DVD-RW/-R VRフォーマット　CD　JPEG

リモコンの表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

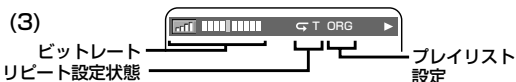
再生情報の表示

1 再生中に 表示 を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- 表示 を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。C：チャプター　T：タイトル A⇆B：A-Bリピート
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生しているとき、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

リターンボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVD-RW/-R(VRフォーマット)の場合

(1)と(2)はDVDの場合と同じです

	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 ディスクに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A：オール A⇆B：A-Bリピート
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL：[プレイリスト]を再生しています。

リターンボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

音楽用CDの場合

プログラム/ランダム再生中のみ、オールは表示されません

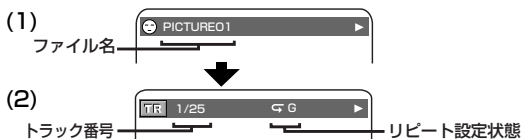
TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。T：トラック　A：オール A⇆B：A-Bリピート
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。T：トラック　A：オール A⇆B：A-Bリピート

リターンボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

JPEGの場合

(3) プログラム／ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ）　A：オール

リターンボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

■ 初期設定一覧（出荷時の設定）

下記の表は便利にお使いいただくために設定できる内容と、工場出荷時の設定を一覧にしています。

オーディオアンプとのデジタル接続時に音声設定を変える必要があります。詳しくは音声設定の各ページをご参照ください。

• パレンタル設定以外の設定を初期化する方法は、72ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(□は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡60～63ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
2. 映像設定 ➡64～65ページ	TV画面モード Quick	4:3レターボックス 4:3パンスキャン	お好みに合わせて設定
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定
3. 音声設定 (デジタル出力) ➡66～67ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールする／しないを設定
	ダウンサンプリング	オン オフ	デジタル端子の接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定
	ドルビーデジタル Quick	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
4. パレンタル設定 (視聴制限) ➡68～69ページ	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更
5. その他 ➡70～71ページ	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（🎥）の画面表示有無の設定
	スクリーンセーバー	オン オフ	静止または停止状態で5分間入力がない場合、スクリーンセーバーを起動する／しないを設定
	スライドショー	5秒 10秒	JPEGの表示時間を設定

DVD編

あどばいす

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面つきDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- Quick とかかれたマークのある項目は、クイックセットアップモードで設定することができます。詳しくは60ページの「あどばいす」をご覧ください。

  そのほかの項目は、カスタムセットアップモード[➡60～71ページ]で設定を変更してください。

設定をかえる（セットアップ）

■ 言語設定

再生中の場合、停止 ■ を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

• セットアップ画面が表示されます。

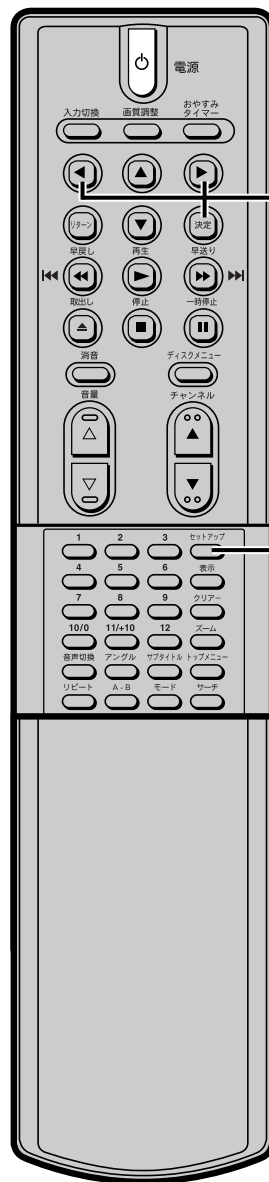
2 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、

 決定 を押す

• カスタムモードが表示されます。

3 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、

 決定 を押す

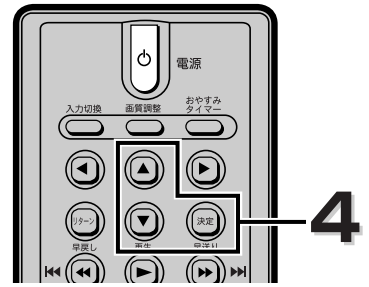
• 言語設定画面が表示されます。

あどばいす

• 手順2で "Quick" を選択して 決定 を押すと、クイックセットアップモード設定画面になります。
［ＴＶ画面モード］と［ドルビーデジタル］の設定は、［➡ 65、67ページ］をご覧ください。

• 手順1で セットアップ を1回押すと、画質調整と調光を設定する画面が表示されます。［➡ 27、28ページ］

DVD編

4

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **音声言語**（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

決定 を押す

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **字幕言語**（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

決定 を押す

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **ディスクメニュー言語**（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

決定 を押す

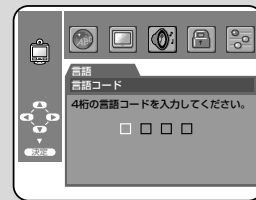
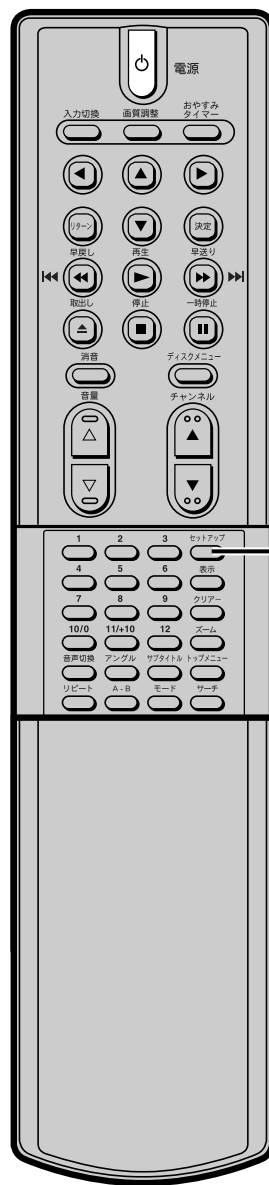
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

音声・字幕・ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

“その他”を選択し、言語コード設定画面を表示させ 決定 を押します。[➡ 63ページ]のリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

次ページに続きます。

DVD編

5 セットアップ を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

あどばいす

• 一部のディスクでは音声や字幕の言語設定が利用できませんので、音声切換ボタンやサブタイトルボタンを使います。
詳しい説明は[➡ 52〜53ページ]にあります。

■ 言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語(CZE)	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語(POL)	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

音声ボタンを押したとき、※は画面上にそのまま表示されます。また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

DVD編

設定をかえる（セットアップ）

■ 映像設定

再生中の場合、停止 を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

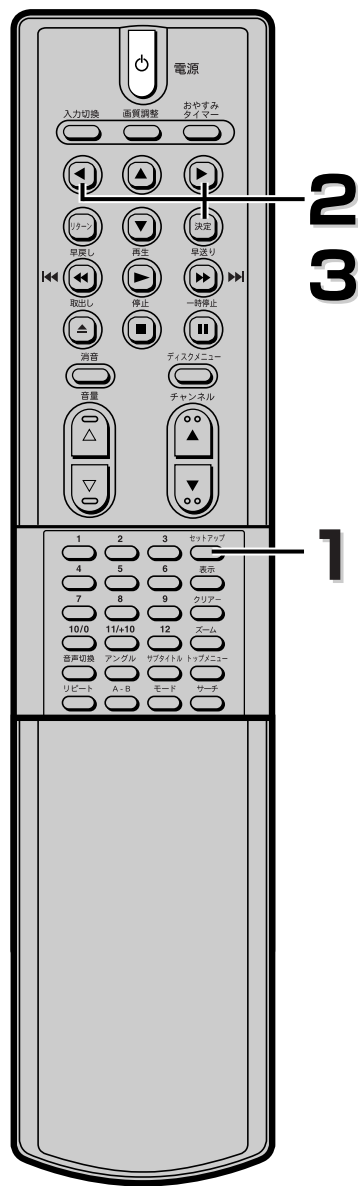
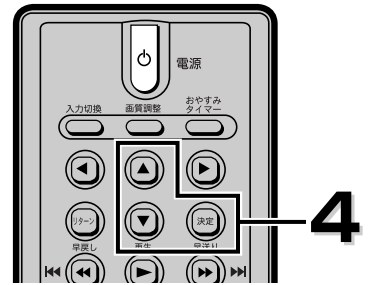
• セットアップ画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、決定 を押す

• カスタムモードが表示されます。

3 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、決定 を押す

• 映像設定画面が表示されます。

DVD編

4 ▲/▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **TV画面モード**（初期設定：4:3 レターボックス） Quick

＊4:3 レターボックス　：上下に黒い帯つきの画面

＊4:3 パンスキャン　：左右をカットした画面

決定 を押す

▲/▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **スチルモード**（初期設定：オート）

一時停止時の画質を設定します。

＊オート　：通常はこの設定を選びます。

＊フィールド　：オートに設定しても画像のブレが発生するときに設定します。"フィールド"を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレは生じません。

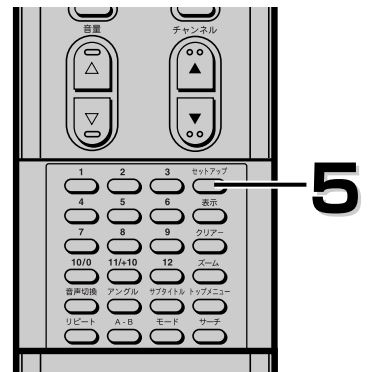
＊フレーム　：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。"フレーム"を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

決定 を押す

▲/▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

5 セットアップ を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

DVD編

あどばいす

- DVDによっては、[TV画面モード]で設定したモードとは違う画面になることがあります。

テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。

- [スチルモード]の[オート] を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。
- [TV画面モード]の設定が[4:3パンスキャン]であっても、パンスキャン指定のないDVDソフトはレターボックスで表示されます。

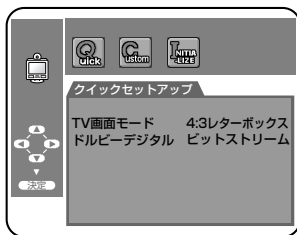
■ 音声設定　再生中の場合、停止 を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

・セットアップ画面が表示されます。

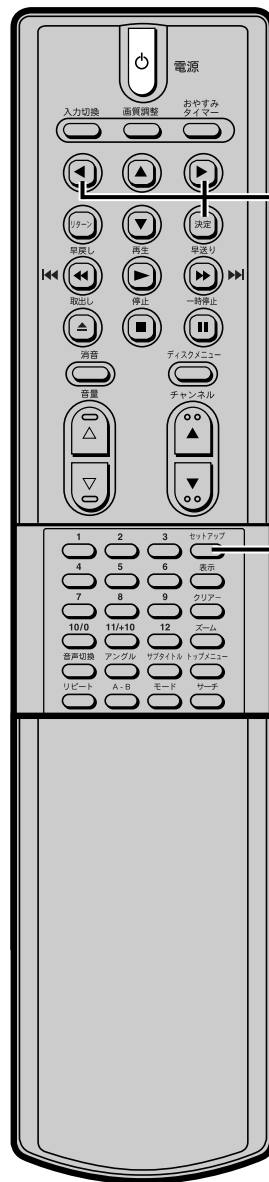
2 ◀ / ▶ を押して " " を選択し、

 を押す

・カスタムモードが表示されます。

3 ◀ / ▶ を押して " " を選択し、

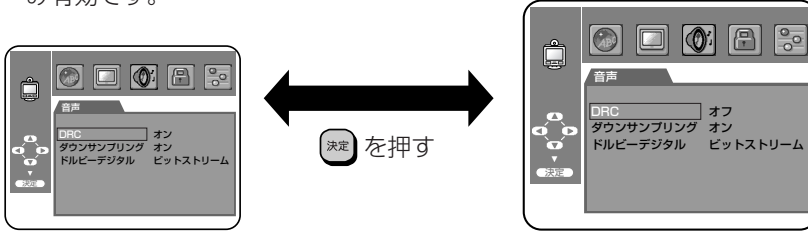
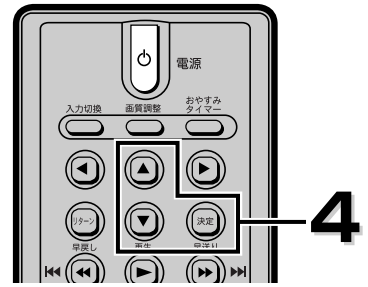
 を押す

・音声設定画面が表示されます。

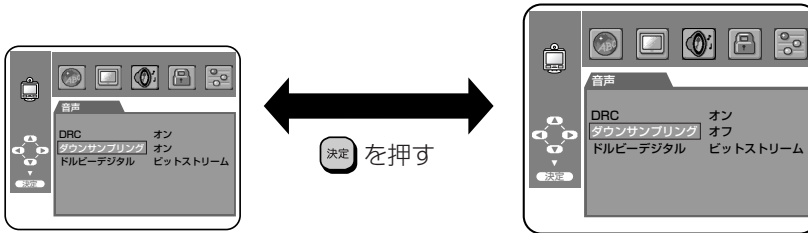
DVD編

4 ▲/▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

● DRC（初期設定：オン）

＊オン：再生時に音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整します。

- この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
- ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

● **ダウンサンプリング**（初期設定：オン）
デジタル端子の接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。

＊オフ：“オフ”に設定した場合、96kHzで出力されますが、ディスクのコピーガード機能が働いているとき、96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。

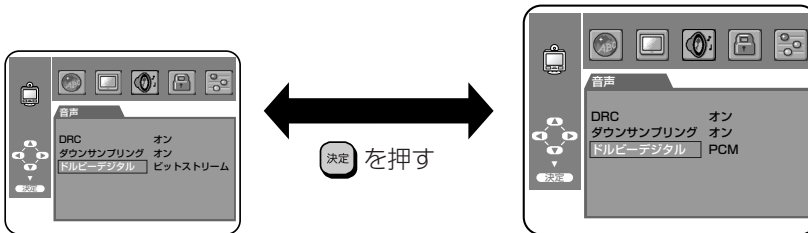
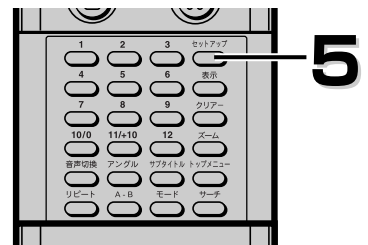
＊オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

● **ドルビーデジタル**（初期設定：ビットストリーム） Quick

＊ビットストリーム：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

＊PCM：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

5 セットアップ を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

DVD編

あどばいす

- **メニュー画面つきDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。**

■ パレンタル設定（視聴制限）

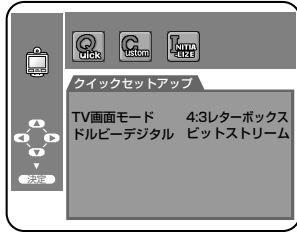
再生中の場合、停止 を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

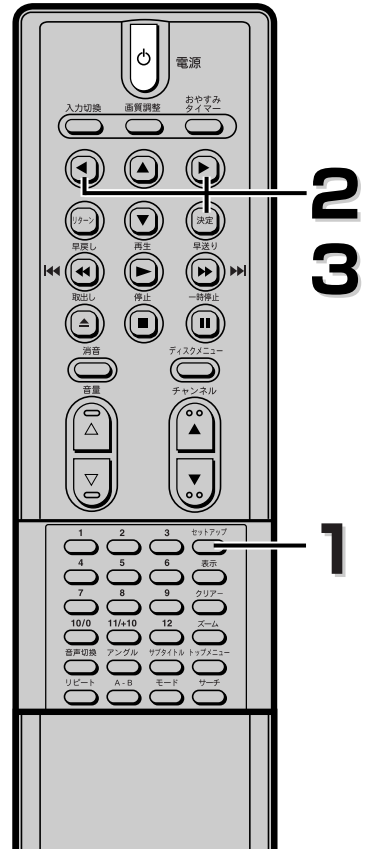
・セットアップ画面が表示されます。

2 ◀/▶ を押して "" を選択し、

 を押す

・カスタムモードが表示されます。

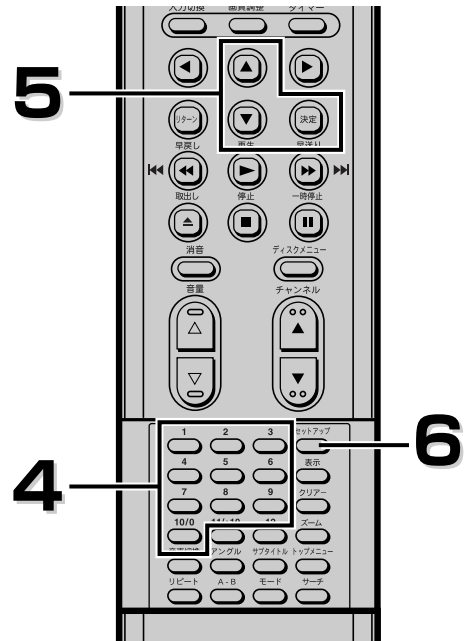
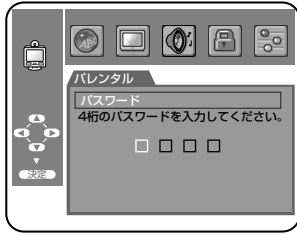
3 ◀/▶ を押して "" を選択し、

 を押す

・パレンタル設定画面が表示されます。

パレンタル（視聴制限）について

子どもが誤ってDVDプレーヤーを操作できないようにするための機能です。
ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。
本機はディスクにパレンタルコードが記録してあればパレンタルロックをかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき、暴力シーン等、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを解除しないかぎり、再生できません。

4 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、決定ボタンを押します。
  この数字は次回からパスワードとして使用されます。
  忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。

5 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

● **パレンタルレベルを選択した場合**

▲ / ▼ を押してオールまたは8から1までの項目を選び、決定 を押します。

(オール)

パレンタルロックをオフ状態にします。

(レベル8)

どのグレードのDVDソフトウエア
（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7から2)

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

(レベル1)

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。
成人向け、一般用のソフトウエアは利用できません。

● **パスワード変更を選択した場合**

数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定 を押します。

パスワードを忘れたとき

手順4で数字ボタンを[4]、[7]、[3]、[7]の順に押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

6 セットアップ を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

あどばいす

- 設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

DVD編

■ その他の設定

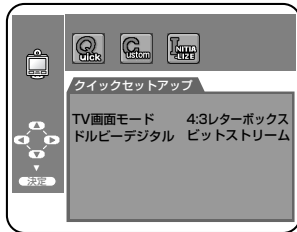
再生中の場合、停止 を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

・セットアップ画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、

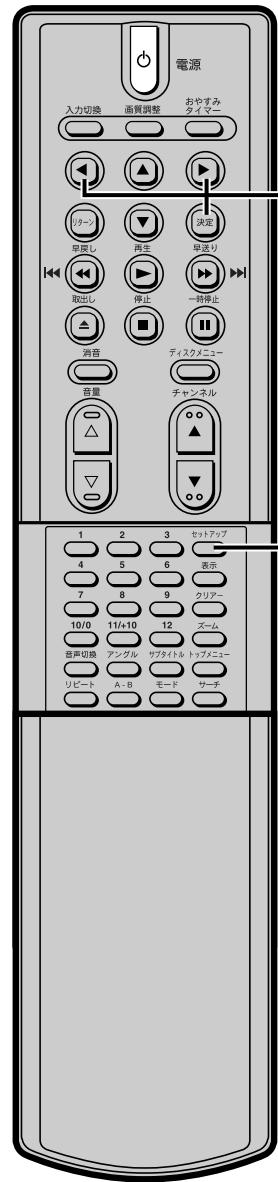
 を押す

・カスタムモードが表示されます。

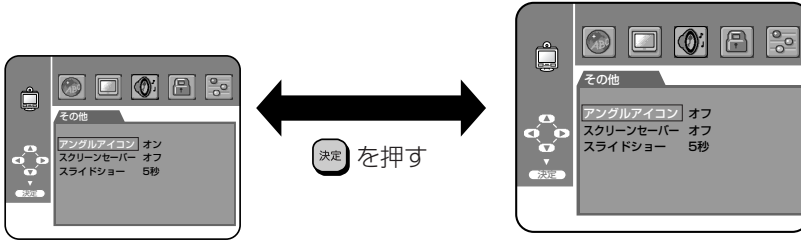
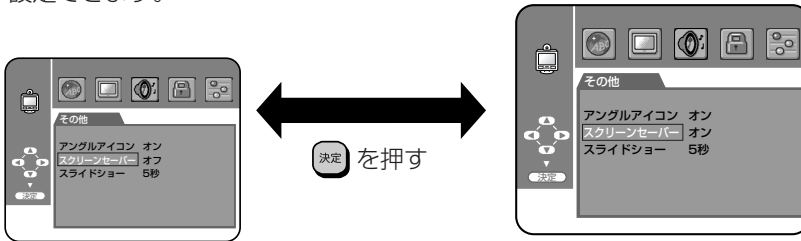
3 ◀ / ▶ を押して "" を選択し、

 を押す

・その他の設定画面が表示されます。

DVD編

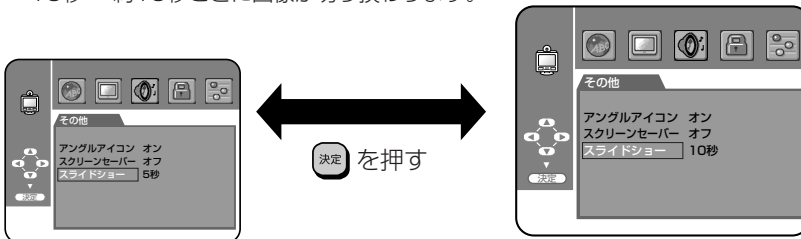
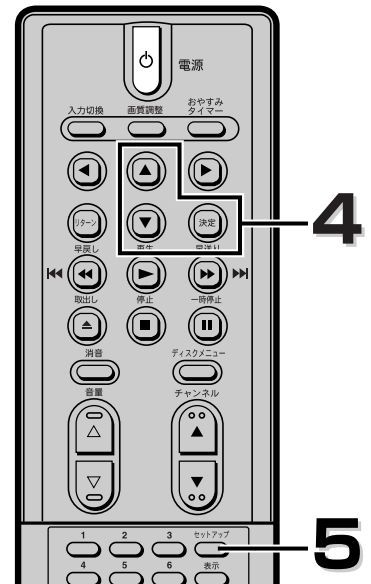
4

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

● **アングルアイコン**（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

● **スクリーンセーバー**（初期設定：オフ）
静止または停止状態が5分間続くと、スクリーンセーバーが起動するように設定できます。

● **スライドショー**（初期設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
＊5秒　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
＊10秒 ：約10秒ごとに画像が切り換わります。

5

セットアップ を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

DVD編

■ パレンタル設定以外の設定を初期化する

再生中の場合、停止 を押します。

準備：テレビモードまたは外部が選択されているときは、再生ボタンを押し、DVDモードを選んでください。
（ディスクの再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください）

1 セットアップ を2回押す

• セットアップ画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ を押して"INITIALIZE"を選択し、

決定 を押す

• 初期化画面が表示されます。

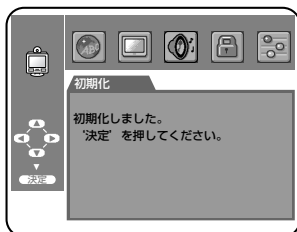
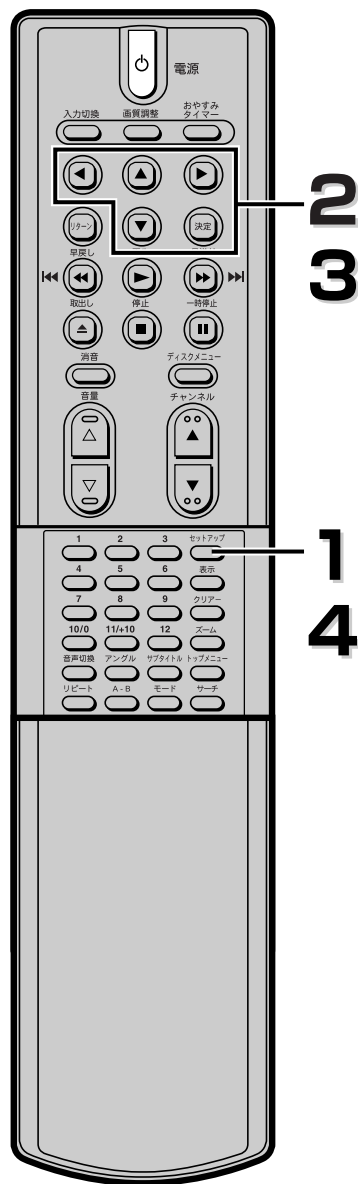
3 ▲ / ▼ を押して"はい"を選択し、

決定 を押す

• 初期化が実行されます。

4 セットアップ を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

DVD編

故障かな？と思ったら

■ ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
共通	**電源が入らない**	※電源プラグがはずれている。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。	ーー
		※停電で電源が切れている。 ※内部の保護回路が働いている可能性があります。	●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜きしばらく（1時間程度）時間をおいて、再びコンセントに差し込んで、電源を入れてください。それでも、電源が入らない場合は、お近くのサービスセンターへご相談ください。	ーー
	リモコンで操作できない	※リモコンが操作したいモードになっていない。 ※リモコンが本体の受光部に向いていない。 ※リモコンと本体が離れすぎている。 ※リモコンと本体の受光部の間に障害物がある。 ※リモコンの電池が消耗している。 ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした。 ※本体のリモコン受光部不良の可能性がある。	●テレビを操作する場合は、入力切換ボタンを、DVDを操作する場合は再生ボタンまたは取出しボタンを押す。 ●リモコンを本体の受光部に向ける。 ●正面より7m以内の所で操作する。 ●障害物を取り除く。 ●電池を交換する。 ●リモコンの交換が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。 ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行なってみてください。AM放送で放送局のない周波数(雑音のでる状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきたらリモコンは正常です。**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	18 14 14 ーー 14 ーー ーー
	映像が乱れる	※早送り、早戻しをした直後である。 ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。	●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ●本機から離して使用する。	ーー 19
	画像が尾を引いて見えたり、表示が暗い	※周囲温度が低すぎる。	●液晶テレビの仕様に合った温度（5℃～40℃）に設定してください。	ーー
	静止画を連続表示すると残像が発生する	※液晶パネルの特性です。	●時間をおくと正常に戻ります。	ーー
	表示上に黒点（光らない点）や輝点（光ったままの点）がある	※液晶パネルの特性です。	●有効画素に対して 0.005%未満の黒点や輝く点が発生します。故障ではありません。	ーー
テレビ部	**ときどき「ピシッ」と音がする**	※室温の変化によってキャビネットがわずかに伸び縮みして、音を発する場合があります。	●画面や音声に異常がなければ、故障ではありません。	ーー
	テレビの番組が映らない	※アンテナ線がはずれている。 ※アンテナ線が断線、ショートしている。 ※受信チャンネルが設定されていない。 ※テレビ放送の電波が弱い。	●**アンテナ線**を正しくつなぐ。 ●**アンテナ線を点検する。** ●**受信チャンネル**を設定する。 ●電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。	15-16 ーー 20-21 15-16

故障かな？と思ったら

	症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
DVD部	画像がでない	※違う種類のディスクが入っている。	●DVD（映像方式:NTSC、リージョン番号2またはALL、VRフォーマット）、音楽用CD、JPEGディスク、ピクチャーCD以外の物が入っていないか確認する。	10
	再生が始まらない	※結露が発生している。 ※ディスクが入っていない。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※パレンタル設定(視聴制限)が有効になっている。	●電源プラグをコンセントへ差し込み、電源を入れたまま約2時間放置する。 ●ディスクを入れる。 ●ディスクの記録面を手前にして、正しく入れ直す。 ●ディスクを清掃する。 ●パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する。	8 29-30 29-30 8 68-69
	音声がでない	※音声出力の選択が正しくない。 ※DTS音声を再生している。	●音声出力の選択を正しく行う。 ●本機はDTSをサポートしていません。	66-67 −−
	セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない。	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	60-62
	アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない。	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する。	54
	音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない。	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	52-53
	テレビ画面に“⃠”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています。	●故障ではありません。	30
	再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクにキズがある。 ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった。 ※原因がはっきりしないとき	●DVD（映像方式:NTSC、リージョン番号2またはALL、VRフォーマット）、音楽用CD、JPEGディスク、ピクチャーCD以外の物が入っていないか確認する。 ●ディスクを清掃する。 ●キズのないディスクと取り換えて再生する。 ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません。 ●停止ボタンを押してから、再生ボタンを押してみる。 ●本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込み再生してみる。	10 8 8 −− −− −−
	“ディスクエラー ーーディスクを取り出してください。ーー 再生可能なディスクを挿入してください。” と画面表示される	※再生できないディスクが入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクにキズがある。	●再生できるディスクを入れる。 ●ディスクを清掃する。 ●ディスクの記録面を手前にして、正しく入れ直す。 ●キズのないディスクと取り換えて再生する。	10 8 30 8
	“リージョンエラー ーーディスクを取り出してください。ーー この地域での再生は禁止されています。 このディスクのリージョンコードは： 1＊＊＊＊＊”と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている。	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる。	10
	“パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。”と画面表示される	※パレンタル設定が有効になっている。	●パレンタル設定を変更する。	68-69
	ディスクがでてこない	※8cm盤や名刺型、その他円形以外のディスクが入っている。	●本体の取出しボタンを数秒間押してください。	13
その他	電源プラグを壁のコンセントにさしたとき、火花が一瞬発生する	※電源プラグをコンセントに差し込んだ際、電源プラグの刃先に電流が流れることにより発生する現象です。電源投入時、電源回路の電解コンデンサに電荷がたまるまでの間、インラッシュ電流が流れることにより発生します。	●製品の安全上全く問題はありませんが、頻繁に抜き差しすると、コンセント側の金具が緩んだり、火花跡がついたり、コードの半断線につながります。 市販品の「電源スイッチつきコンセント」を購入し、その電源スイッチで「入・切」を行えば火花は発生しません。	−−

あどばいす

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

さくいん

用語の解説

用語	説明
黒レベル	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
視聴制限 （パレンタルレベル）	ディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための映像出力設定や視聴制限などが、あらかじめ設定されています。
セットアップ	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターと言います。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックと言います。
ドルビーデジタル （5.1 or 3/2.1ch）	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。 最大5.1chの独立したサラウンドオーディオシステムです。 このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。

用語	説明
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
DRC	最小の信号レベルを上げ、最大の信号レベルを下げて音声の強弱を調節する機能です。DRCをオンにすると（初期設定：オン）、破裂音のような強い音が低減される一方、人の会話などがはっきり聞こえるようになるため、深夜に映画を見るときなどに便利です。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の一つです。データサイズを小さく出来るので、広く使われています。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの映像/音声はこの方式で記録されています。
NTSC方式	National Television System Committeeの略で、主に日本やアメリカで使われているテレビの信号方式です。
VHF放送とUHF放送	VHF放送は1～12チャンネル、UHF放送は13～62チャンネルでご覧になれます。
4:3パンスキャン	ワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
4:3レターボックス	ワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面

その他

仕様

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

部	項目		仕様
テレビ部	種類		DVDプレーヤー内蔵型液晶テレビ
	受信方式		NTSC方式
	受信チャンネル		VHF：1～12チャンネル／UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C63チャンネル
	液晶画面サイズ		15V型
	有効画面寸法		304.32mm(幅)×228.24mm(高さ)／380.4mm(対角線径)
DVD部	形式		DVDビデオ、音楽用CD、JPEG、ピクチャーCD
	使用ディスク		DVDビデオディスク、音楽用CDディスク、JPEGディスク、ピクチャーCD
	出力信号方式		NTSCカラー方式
	周波数特性		DVD(リニア方式) 20Hz～22kHz(48kHzサンプリング周波数) 20Hz～44kHz(96kHzサンプリング周波数) 音楽用CD 20Hz～20kHz(JEITA)
	信号対雑音比(S/N比)		CD：80dB(JEITA)
	ダイナミックレンジ		DVD(リニア音声)：85dB、CD：82dB(JEITA)
	総合ひずみ率		CD：0.07%、DVD：0.07%
	ワウ・フラッター		測定限界(±0.001% W PEAK)以下
共通部	端子	アンテナ入力	VHF/UHF：一軸　75Ω
		映像入力	1.0Vp-p　75Ω　ピンジャック×1
		S映像入力	Y=1Vp-p（75Ω）　C=0.286Vp-p
		D3映像入力	Y=1Vp-p（75Ω） Cb/Pb、Cr/Pr=0.7Vp-p
		アナログ音声入力	500mVrms　インピーダンス　47kΩ ピンジャック×4
		ヘッドホン	ミニジャック×1
		同軸デジタル音声出力	同軸コネクター　0.5Vp-p　75Ω　ピンジャック×1
	使用電源		AC100V　50/60Hz
	消費電力		約35W(待機時：約0.8W)
	キャビネット		オールプラスチック製
	外形寸法（チルトスタンド設置）		470mm(幅)×375.5mm(高さ)×231mm(奥行)
	（チルトスタンド無し）		470mm(幅)×321.1mm(高さ)×121mm(奥行)
	質量		約4.5kg
	最大音声出力		1W(8Ω)＋1W(8Ω)
	許容温度範囲		5℃～40℃
	許容湿度範囲		80%以下
	区分名*3		BI
	年間消費電力量*1		48kWh/年(標準時)*2

• 本機は国際規格 IEC 60825 に準ずるクラス1レーザー製品です。

*1 年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量。

*2「標準時」：調光が「標準」時で、画質調整において明るさ：0、色のこさ：0、色あい：0、映像：＋11、画質：0の状態のことであり、メーカー推奨の画質設定です。

*3「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

アフターサービスについて

1）保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）保証期間はお買い求めの日から1年間です。
本機は一般家庭用として作られています。各種の消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）アフターサービスのご依頼について

◆保証期間中、万一製品が故障してしまった場合

この取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、製品に保証書を添えて、販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで梱包の上、ご送付ください。
（製品が破損しない様にご注意ください。）保証書の記載内容にしたがって修理させていただきます。

◆保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合

販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、下記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：
- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **故障または異常の内容**
- **製品型番・製造番号・ご購入日**

4）アフターサービスについてご不明な点は…
販売店、または最寄りの**船井サービスセンター**までお問い合わせください。

5）**補修用性能部品の最低保有期間**
このDVDプレーヤー内蔵型液晶テレビの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有しています。

ご購入メモ

■ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（このDVDプレーヤー内蔵型液晶テレビの製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	年　　月　　日
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	**LV-151P**
お買い上げ製品の製造番号	

その他

愛情点検　●長年ご使用のDVDプレーヤー内蔵型液晶テレビの点検を！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 再生しても映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- ディスクを傷めた。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

アフターサービスについて

■本製品についてのご質問やその他ご不明な点は、下記**お客様ご相談室**までお問い合わせください。

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】

☎(072) 871－1110　FAX(072) 871－1199

■インターネットからもお問い合わせを受け付けております。
詳しくは、船井電機株式会社ホームページ（ **http://www.funai.jp**）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

■お問い合わせをいただく場合、下記内容をお知らせください。
- **お名前・ご住所・電話番号**
- **製品型番・製造番号・ご購入日・ご購入店名**

■お客様より船井電機株式会社およびグループ会社の各窓口にお電話でご連絡いただいた場合には、通話内容を正確に把握するために、記録（録音など）させていただくことがあります。あらかじめご了承のうえお問い合せください。
■ご相談、ご依頼をいただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務依託先に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

■故障の場合は、お買い上げの**販売店**または**船井サービスセンター**までお問い合せください。
■ご質問の際は、お買い上げの**販売店**または**DXアンテナ家電営業部**までお問い合せください。

【船井サービス株式会社】

北海道サービスセンター　〒060-0061　北海道札幌市中央区南一条西10-4 南大通ビルアネックス1Ｆ
☎(011) 281－0130　FAX（011）281－0137

東北サービスセンター　〒984-0046　宮城県仙台市若林区二軒茶屋3-5 鴫原ビル1Ｆ
☎(022) 299－1658　FAX（022）299－1662

関東サービスセンター　〒192-0363　東京都八王子市別所1-18-10
☎(0426) 79－5402　FAX（0426）79－5406

中部サービスセンター　〒466-0064　愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-4-3 富田ビル2Ｆ
☎(052) 735－0440　FAX（052）735－0441

近畿サービスセンター　〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1Ｆ
☎(06) 6746－3373　FAX（06）6746－3374

中国/四国サービスセンター　〒708-0015　岡山県津山市神戸88
☎(0868) 28－7586　FAX（0868）28－1746

九州サービスセンター　〒812-0014　福岡県福岡市博多区比恵町17-7 サンシティパーキングビル1Ｆ
☎(092) 475－1252　FAX（092）475－3227

■付属品、部品については、サービスセンターでお求めいただけます。
■本製品についてのインターネットによる修理のご依頼や、付属品のオンラインショッピングは
http://www.funai.info をご覧ください。

その他

【DXアンテナ株式会社】

家電営業部（東日本）　〒130-0026　東京都墨田区両国4丁目21番4号 両国三和ビル2F
☎(03) 3846－3950　FAX（03）3846－3990

家電営業部（西日本）　〒532-0011　大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F
☎(06) 6889－1530　FAX（06）6889－1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

営業所	TEL	営業所	TEL	営業所	TEL	営業所	TEL
·札幌支店	TEL.(011)822-1251㈹	·宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100㈹	·豊橋出張所	TEL.(0532)69-2370㈹	·広島支店	TEL.(082)237-5331㈹
·東北支店	TEL.(022)243-2141㈹	·新潟営業所	TEL.(025)276-2166㈹	·三重出張所	TEL.(059)226-1643㈹	·岡山営業所	TEL.(086)245-2948㈹
·盛岡出張所	TEL.(019)636-1581㈹	·茨城営業所	TEL.(029)826-5341㈹	·金沢支店	TEL.(076)261-9988㈹	·高松営業所	TEL.(087)868-1222㈹
·郡山出張所	TEL.(024)921-7131㈹	·千葉支店	TEL.(043)253-1121㈹	·富山営業所	TEL.(076)422-7878㈹	·松山営業所	TEL.(089)925-3826㈹
·東京西営業所	TEL.(03)3354-8451㈹	·静岡営業所	TEL.(054)281-0141㈹	·大阪支店	TEL.(06)6304-5651㈹	·福岡支店	TEL.(092)541-0168㈹
·東京東営業所	TEL.(03)3633-1411㈹	·浜松営業所	TEL.(053)461-6885㈹	·堺営業所	TEL.(072)278-5311㈹	·北九州営業所	TEL.(093)922-6556㈹
·東京システム事業部	TEL.(03)3341-5282㈹	·中部支店	TEL.(052)771-5106㈹	·京都営業所	TEL.(075)382-6141㈹	·大分営業所	TEL.(097)504-7799㈹
·多摩営業所	TEL.(042)572-4911㈹	·松本出張所	TEL.(0263)27-7801㈹	·神戸支店	TEL.(078)974-7100㈹	·熊本営業所	TEL.(096)325-0711㈹
·横浜支店	TEL.(045)651-2557㈹					·南九州営業所	TEL.(099)267-8211㈹
·埼玉支店	TEL.(048)652-3311㈹					·沖縄営業所	TEL.(098)874-6202㈹

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001（代）　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569（代）
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜·日曜·祝日および夏季休暇·年末年始は除く）　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。（2006年 6月 現在）

販売元: **DXアンテナ株式会社**　〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元: 船井電機株式会社　〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

L2580JA
★★★★★ 1EMN21961